

のぞいてみませんか？

教科書

内容解説資料

2020年度用 小学校生活科教科書

わくわく せいかつ 上
いきいき せいかつ 下



この資料は、2020年度用小学校教科書の内容解説資料として、
一般財団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。



啓林館

生活科の教科書には、明日からの授業がもっと楽しくなるヒントがたくさん詰まっています。今日はゆっくり教科書のぞいてみませんか？

教科書は、学びの宝箱。

げんきに そだてわたしのはな

じぶんではなをそだてたことはあるかな？

がつこうでもそだてたいな。

20 21

QRコード

ようちえんでちゅうりっぷをそだてたよ。

ほいくしょでひまわりがさいていたよ。

ひろがるきもち

いえのひとにもはなそう。

できるかな できたかな？

生きものの気持ちをかんがえてやさしくできたよ。

みみをさせるよ。

生きものがもっとすきになったよ。

すきだからたよ。

65



できるかな できたかな？

生きものの気持ちをかんがえてやさしくできたよ。

みみをさせるよ。

生きものがもっとすきになったよ。

すきだからたよ。

ひろがるきもち

いえのひとにもはなそう。



わくわく せいかつ いきいき せいかつ

上

下



もくじ

編集の基本方針	4	
教科書の構成	6	
教科書の5つの特色	★	12
① 3段階構成	14	
② めぐり言葉	16	
③ スタートブック	20	
④ ステップブック	22	
⑤ 豊富な資料		
教科書紙面のサンプル		
わくわく（単元導入）	26	
いきいき（主な活動）	30	
ぐんぐん（ふり返り）	32	
がくしゅうずかん（巻末資料）	34	
学習指導要領のキーワードと大切にしたこと		
1 主体的・対話的で深い学び【やってみたい！単元導入】	40	
2 主体的・対話的で深い学び【気付きの質が高まる学習活動】	42	
3 主体的・対話的で深い学び【言語能力の育成】	44	
4 資質・能力の3つの柱	46	
5 社会に開かれた教育課程	48	
6 QRコンテンツ	49	
7 カリキュラムデザイン	50	
8 教師の手立てが見てわかる	52	
9 防災教育・学校安全	54	
10衛生面	56	
11 健康面	56	
12 環境教育・ESD	57	
13 伝統や文化に関する教育	57	
14 人権や福祉	58	
15 インクルーシブ教育	58	
観点別特色一覧表	59	
学習内容一覧表	73	
年間活動計画表	74	
教師用指導書のご紹介	76	
学習者用デジタル教科書のご紹介	78	



編集の基本方針

子どもたちの 学びをつなぐ 未来をひらく

～心豊かに、たくましく、新しい時代を生き抜く力を育てるために～

これから新しい時代を生きる子どもたちの自立と共生に向けて、必要な資質・能力を育むと共に、他者への共感や優しさ、思いやりなど豊かな人間性を育むため、身近な人々、社会や自然と繰り返し関わる体験や活動を大切にしました。また、子どもが自分のよさや可能性に気付き、生涯にわたって学び続ける力を育成できるよう編集しています。

めざす子ども像

夢中になる子ども

思いや願いを強くもち、
夢中になって学びに向かう子ども

学びを創る子ども

他者と協力して、
主体的に学びを創り出す子ども

共に生きる子ども

人や自然、社会と関わりながら、自分の生活をより豊かにしようとする子ども



編集委員長 寺尾慎一
(元福岡教育大学 学長)

特色① 学びのプロセスが分かる
3段階構成



啓林館の5つの特色

特色② 思いや願いがつながる
めぐり言葉



特色③ 上巻の巻頭には、
スタートブック



特色④ 下巻の巻末には、
ステップブック



特色⑤ 確かな学びへ導く
豊富な資料



子どもの学びと育ち をつなぐ教科書



上巻は「学校」を主として

すたあとぶっく がっこうだいすき あいうえお	1
いくぞ！がっこう たんけんたい	2
げんきに そだて わたしのはな	20
あそびばに でかけよう	34
なつと なかよし	44
いきもの 大すき	58
あきと なかよし	72
ひろがれ えがお	86
ふゆと なかよし	98
もうすぐ 2年生	108
がくしゅうずかん	119

下巻は「地域」を主として

あたら 新しい こと いっぱい	2
おお 大きく そだて わたしの 野さい	12
とび出せ！町の たんけんたい	26
みんな 生きている	42
せかいで ひとつ わたしの おもちゃ	58
もっと 知りたい たんけんたい	72
まち 町の すてき つたえたい	86
これまでの わたし これからの わたし	98
がくしゅうずかん	109
ステップブック みらいにむかって	1



上巻の巻頭には
スタートブック
「がっこうだいすき あいうえお」
がついています。



詳しくは p.16 ←

下巻の巻末には
ステップブック
「みらいにむかって」
がついています。



詳しくは p.20 →



子どもにとって学びやすく

小単元名
具体的な学習活動

わく
わく

いき
いき

ぐん
ぐん

3段階構成

わくわく・いきいき・
ぐんぐんの3段階構成で単元の流れを示しています。

本文

活動の見通し

衛生面への配慮
アイコンで分かりやすく示しています。

生きものと ふれあおう

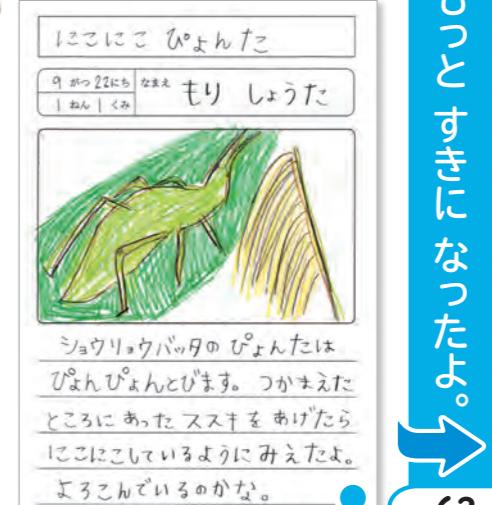
なかよしになれるかな。



教師にとって教えやすい★

がくしゅうづかん
70~71
ページ

げんきにそだって
ほしいな。



各種コーナー
安全、公共のマナーなど
生活に必要な知識・技能を掲載しています。

キャラクター
気付きのヒントや
安全上の留意点などを
示しています。

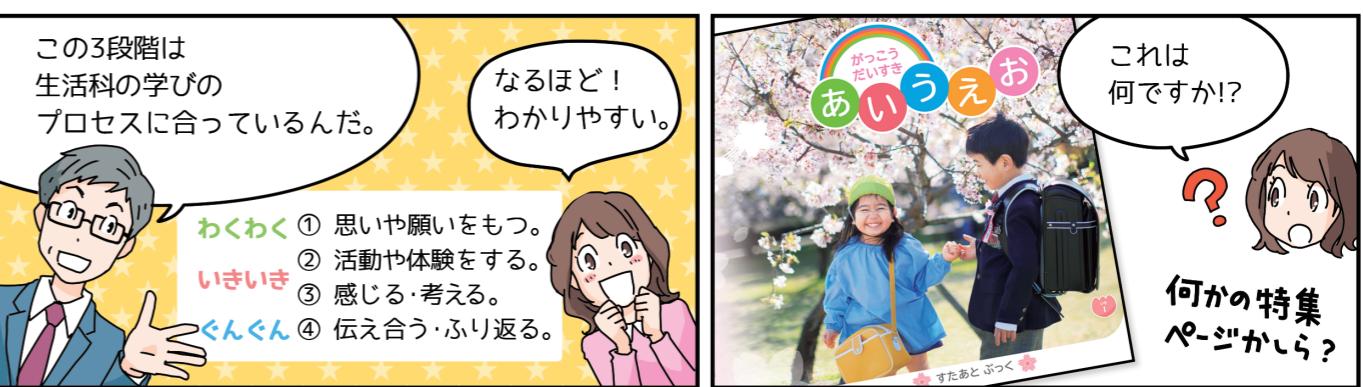
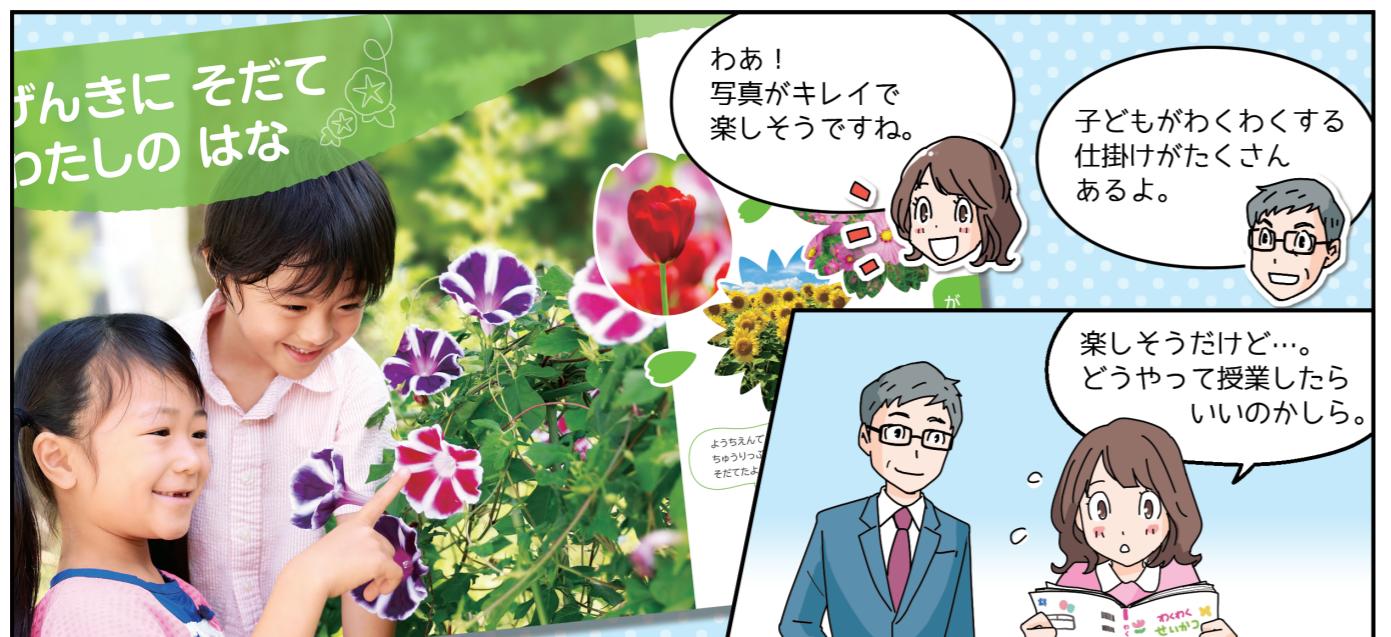
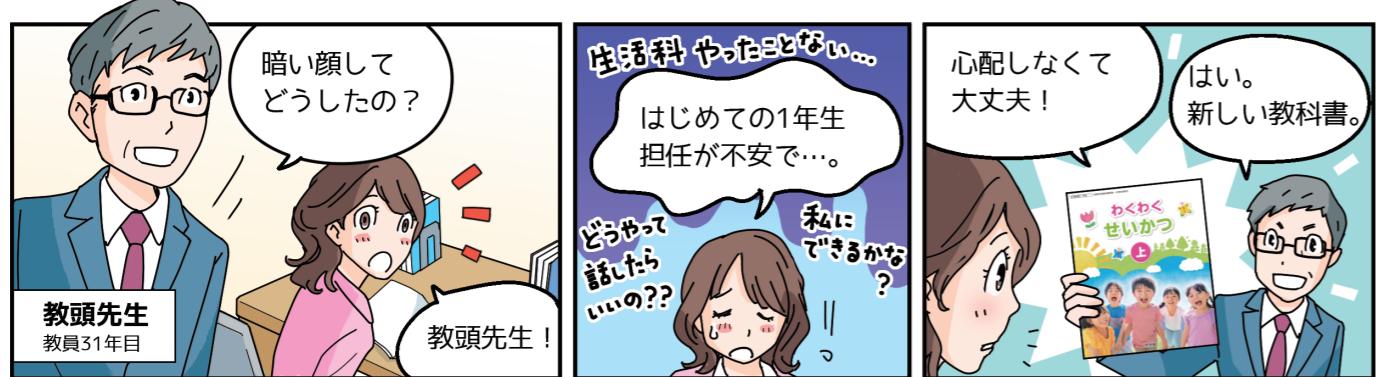
生きものがもっとすきになつたよ。→ 63

めくり言葉
活動の連続性や広がり
をサポートし、スパ
イラに深い学びを実現
できるよう、右下の「め
くり言葉」で次の活動
への思いや願いの例を
示しています。

カード

入学当初から段階的に、
絵のみ、3行程度、5行
程度と文章量を変化さ
せ、発達段階に応じた
例となるように配慮し
ています。

新しくなった教科書の魅力って？



学びのプロセスがわかる 3段階構成

わくわく → いきいき → ぐんぐんの3段階構成は、生活科の学びのプロセスを考慮して活動の流れをわかりやすく示しています。活動の流れを明確化することで、多様な子どもにもわかりやすい構成となっています。

- ・生活科の学びのプロセスを考慮して活動の流れを分かりやすく示しています。
- ・繰り返し学習することで、学びの基礎が身につく構成です。
- ・総合的な学習の探究のプロセスに繋がります。

思いや願いを持つ

活動や体験をする

感じる・考える

伝え合う・ふり返る

单元導入

わくわく

子どもの「やってみたい！」を刺激するダイナミックな写真や問い合わせ構成しています。



主な活動

いきいき

見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動を大切にしています。



表現活動

ぐんぐん

他教科等との関連を図りながら、言葉・絵・動作・劇化など多様な表現活動を例示しています。



主体的・対話的で
深い学びにつながる。

思いや願いがつながる めくり言葉

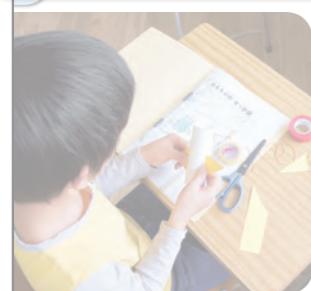
子どもの思いや願いが次の活動につながるように、紙面右下にめくり言葉を設定しています。

活動が単発的にならず、気付きが繰り返し深まる構成です。また、次の活動への期待感が高まり、子どもの主体性を育てるこどもつながります。「もっとこうしたい！」という思いや願いの連続性を大切にしています。

小単元名

具体的な学習活動

自分でおもちゃを 作ってみよう



遊び方やルールを くふうしよう



どうしたらもっと楽になるかな。

63

みんなで たの 楽しくあそぼう



みんなで いつしょに あそびたいな。

65

めくり言葉

活動の中で生まれた気付きや、
次の活動への思いや願い

思いや願いが
次の活動につながる。

- 子どもの思いや願いの連続性を大切にしています。
- 活動が繰り返し深まり、気付きの質を高めます。
- 見通しを持って粘り強く取り組む「主体的な学び」を実現できます。

上巻の巻頭には、 スタートブック



- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえたスタートカリキュラムです。
- ・幼児教育の専門家や指導者が編集委員として執筆や監修をしています。
- ・子どもたちの「安心感」を大切に、**学びに向かう力**を育てます。

幼児教育の成果を生かす スタートカリキュラム

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえて、一人一人の子どもが自信をもって自己を発揮し、安心して学校生活を始められるように、スタートカリキュラムへの手がかりを丁寧に示しました。



ポイント1 幼児期の写真からはじまる「すたあとぶつく」

子どもにとっては**安心感**につながり、教師にとっては**幼児教育の成果を生かす指導**の参考になります。



たくさんのともだちが
あつまってきたね。



ポイント2

学びに向かう力を育む



ポイント3

教師の支援がわかる

幼児期の学びや育ちを大切に、学びに向かう力を育てるための教師の姿勢が紙面を通して分かるように編集しています。



ポイント4

ICTの活用

お手持ちのタブレットPCやスマートフォンでQRコードを読み取ると、幼児期に親しんだ歌や手遊びの動画が閲覧できます。



ポイント5

スタートカリキュラム指導書

スタートカリキュラムに特化した別冊の指導書を作成しました。基礎～実践事例まで、先生方の指導をサポートします。



ポイント6

保護者も安心

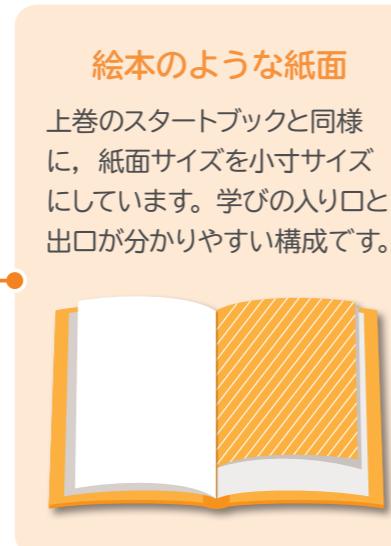
単元冒頭の保護者へのメッセージでは、スタートカリキュラムの意義や期待する子どもの姿を示しています。

保護者の皆様へ

期待に胸を膨らませている子ども、少し緊張した子ども、不安で今にも泣き出しそうな子ども、さまざまな1年生がいます。全ての子どもたちが楽しく安心して小学校生活を始められるように、入学当初には、「スタートカリキュラム」という取組が実施されています。スタートカリキュラムでは、入学までの生活経験や学びを生かしながら、歌や遊びを取り入れた活動を行ったり、生活科を中心に国語や算数などのいくつかの教科をあわせた合科的・関連的な指導を行ったりします。

本書は、このスタートカリキュラムを丁寧に扱い、子どもたちが「明日も学校に来たい！」という意欲を高められるよう、巻頭部分を工夫しています。

下巻の巻末には、 ステップブック



中学年以降への接続と キャリア教育への手がかりに

この単元は、2年間の生活科での学びや出会いをふり返る中で、満足感や達成感を感じ、意欲と自信をもって、これから的生活をおくつてほしいと願い新設しました。中学年以降の教科への期待感だけでなく、低学年におけるキャリア教育で大切な「好きなこといっぱい できることいっぱい 学校って楽しいな」という視点にも十分配慮しています。

確かな学びへ導く 豊富な資料

深い学びや総合的な学習の時間の探究のプロセスにつながる下記の資料を巻末の「がくしゅうずかん」で一連の流れとして掲載しています。

しらべよう → 記ろくしよう → 友だちと考え方をふかめよう → まとめよう つたえよう

下巻 p.112-113

下巻 p.114-115

112

114

115

- 子どもの主体的な学習と教師の確かな指導・支援をサポートします。
- 基本的な知識及び技能や学び方が身につきます。
- 個に応じた指導や理解の程度に応じた指導が行いやすくなります。

危険な生き物
安全教育



こんなときどうしよう!



主体的な学習と 教師の支援をサポート

必要に応じて活用できる汎用性の高い資料は、巻末の「がくしゅうずかん」にまとめました。学習の中で必要な資料は、各单元の紙面に「気をつけよう」や「こんなときどうしよう」のコーナーとして掲載しています。

生活科と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

編集委員：木下 光二（鳴門教育大学大学院教授）

小学校学習指導要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携認定こども園教育・保育要領などの改定において、それぞれの総則に、接続の重要性や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を育てることが明記されました。特に、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿は、幼児期や児童期初期の遊びや学びを明確にし、生活科の生活化を図るためにもとても重要です。

今はまさに、生活科が幼児期と児童期をつなげる重要な役割として求められています。

啓林館の教科書の上巻「すたあとぶっく」は、幼児期の写真から始まります。その中の1枚の写真が語っている“**わたげをうえています**”をもとに述べてみたいと思います。

ある年の春のことでした。幼稚園の5歳児の花壇に少し傾いた立て札が立っていました。興味を覚えて覗いてみると、文字が書かれていました。読んでみると、「わたげ…」までは読めたのですが、次に書かれているいくつかの文字がわかりませんでした。担任の先生に尋ね、書いた幼児と話すことができました。

「これ、何で書いてあるのかな?」と尋ねると、「わたげをうえています。お願ひだからふまないでください」と教えてくれました。なるほど、「わたげをうえています」と書いてあったのです。写真でもわかるように「お」「え」「て」は字形が違っていますし、「ま」は、鏡文字になっています。しかも、「お願ひだからふまないでください」の文字はどこにも見当たりません。そこで、もう一度尋ねてみました。すると、今度も真剣な表情で、「わたげをうえています。お願ひだからふまないでください」と教えてくれました。「お願ひだからふまないでください」は、書かれてはいないのですが、幼児の中では、「わたげをうえています」の中に、その意味がちゃんと含まれているのです。彼が伝えたかったのは、「お願ひだからふまないでください」ということだったのでしょうか。



实物大

教科書紙面のサンプル



上巻 生きもの大好き（単元） 26

下巻 がくしゅうずかん（巻末資料） 34

春になり、どこからか飛んできたわたげを拾い、種であることを知った幼児は、幼稚園の花壇に植えました（自然との関わり・生命尊重）。そして綿毛が誰にも踏まれず、無事に育つように願いを込めて立て札を作りました（自立心、社会生活との関わり、道徳性・規範意識の芽生え）。木材をT字型に組み、2本の釘を打ち付け、そこに自分の気持ちを文字にして表現しました（思考力の芽生え、文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い）。何気ないエピソードですが、植物や自然に寄せる優しい思い、文字を自分の思いを伝える効果的な伝達手段であると認識し自ら行動を起こした自発性や創作意欲などは、まさに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に当てはまります。いかがでしょうか？この1枚の写真にはこのようなメッセージが込められているのです。

啓林館の教科書に掲載されている写真1枚1枚に、このようなメッセージが込められています。柔軟で弾力的で豊かな学習や活動を創るためにも、幼児期の教育を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを生活科で創る必要があります。啓林館の教科書では、その期待に十分に応えられるよう、幼児教育の発想をふんだんに取り入れて作成しました。新しい教育の一助となることを願ってやみません。



い 生きもの 大すき だい

わくわく
心をつかむ
单元導入!

アレルギーへの配慮



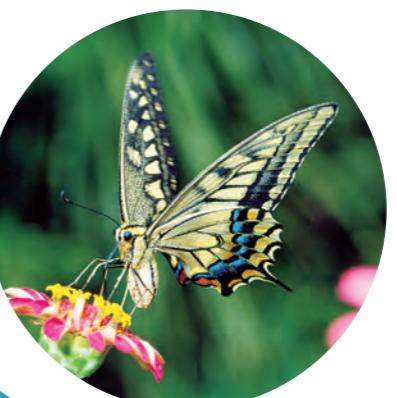
ご指導される先生方へ：学習をはじめる前に、児童のアレルギーの有無（動物や昆虫など）について保護者の方にご確認ください。

学習の参考になる
QRコンテンツ（p49へ）



活動を引き出す発問例

……・どんな生きものをしっているかな？



ほいくしょには
ウサギがいたよ。
わたしのいえには
イヌがいるよ。

子どもの日常生活から
単元が始まる様子の例示



学校にも生きものがいたよ。



わくわくボックス NEW

新しい教科書では、導入を強化しています。導入で思いや願いを強くもち、活動を自分の事として捉えることができると、その後の主体的な学習が生まれます。



い
生きものに
あいに いこう



い 生きものは どこに いるかな ?

子どもの好奇心を高めるかけ

実物大図鑑や、書き込みができるページなど、
単元によって様々な工夫をしています。



い 生きものに さわる
まえや さわった あとは
手を あらおう。

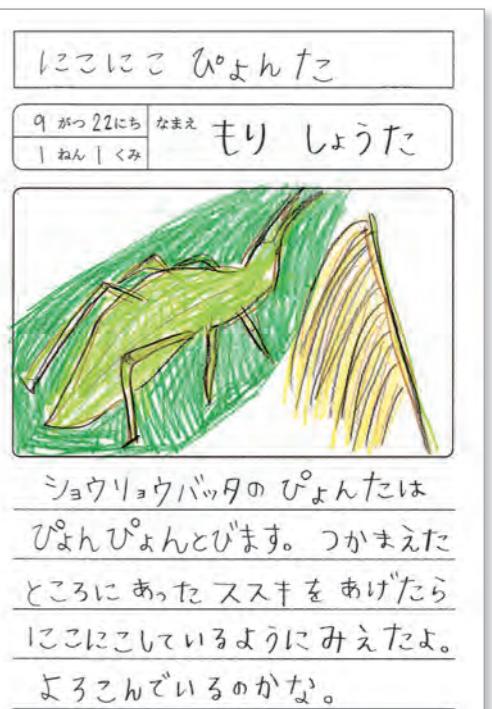
衛生面への配慮

生きものと ふれあおう

いき
いき

なかよしになれるかな

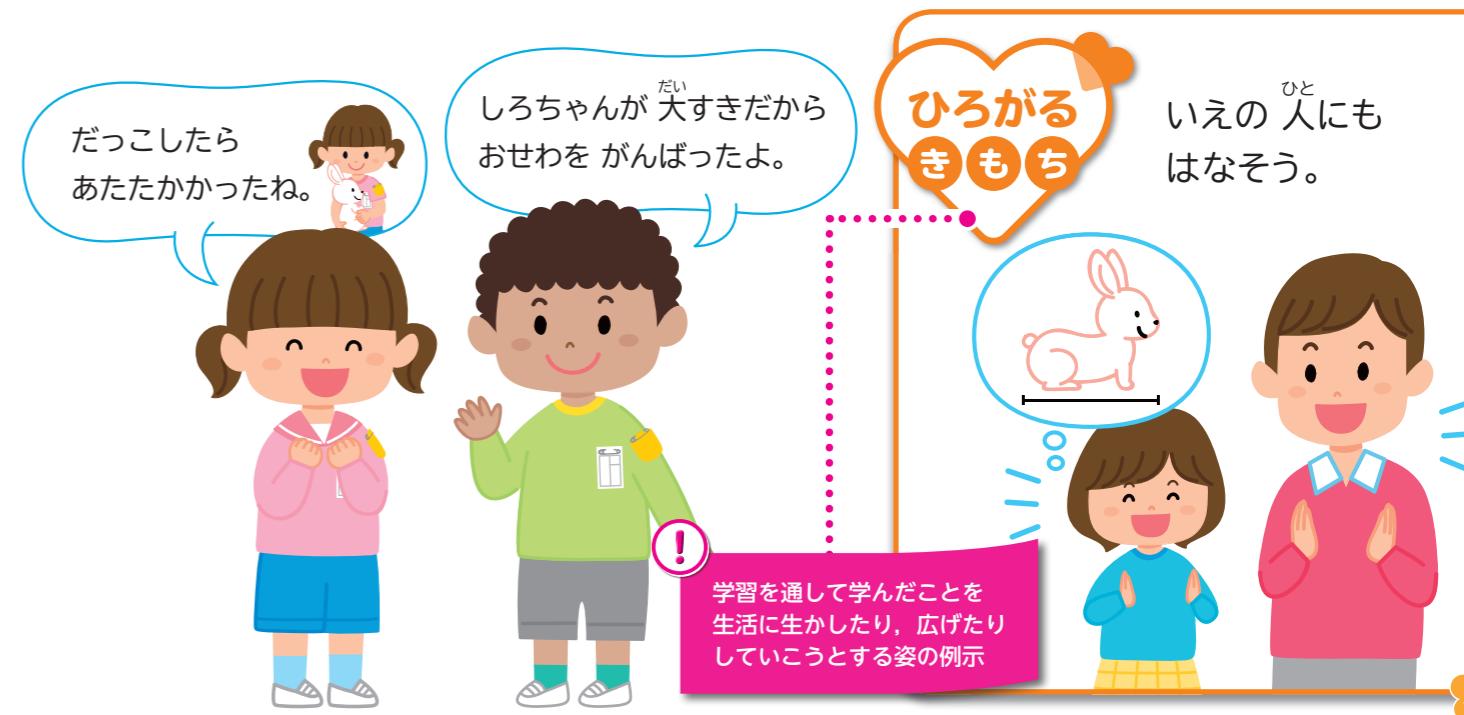
いきいき
子どもが
輝く学習活動



生きものがもつと すきになつたよ。→

み 見つけたことを しようかいしよう

みんなは しっているかな。





記ろくしよう

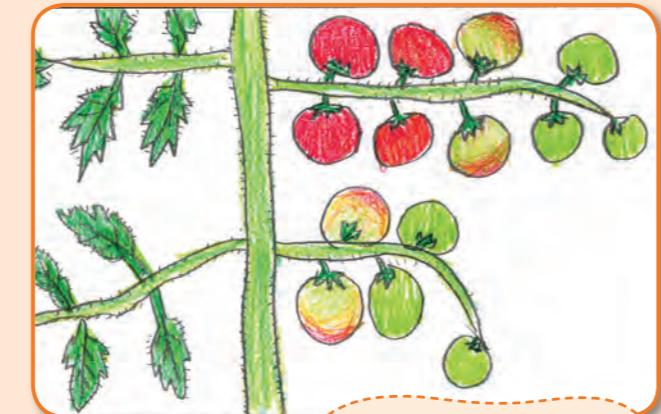
カードのかき方



ミニトマトが4つもとれました。ミニトマトは
上のほうから赤くなることがわかりました。
花がかかるのはがないけれど、みが
なるのはうれしいです。
赤くて丸いみはとてもかわいいです。

名前をかこう。
自分で自分の名前をかこう。

はつ見したことを大きくえにかこう。



いろかたち
色や形をよく見て
かくといいね。



はつ見したことをくわしくかこう。

見つけたこと
見つけたもの
見つけた場所
わかったこと
おも思ったこと
考えたこと

ことばのヒント
形 まる 丸い、四角い、ぎざぎざ
くらべる ～と～をくらべると、
まえ前とくらべると

手ざわり ざらざら、つるつる、
さらさら、どろどろ
たとえる ～みたいに見える、
～みたいな形

下巻
がくしゅううずかん
学び方が
身につく



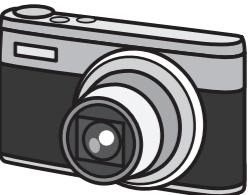
しらべよう、記ろくしよう、まとめよう、
つたえようなど、豊富な資料が巻末の
「がくしゅううずかん」に集められています。

しゃしんや どう画を とろう

- デジタルカメラ、タブレットたんまつ、
ビデオカメラで しゃしんや どう画を とろう。
- しゃしんや どう画を とるときは あい手に
さつえいしていいかたずねてから とろう。



タブレットたんまつ



デジタルカメラ



ビデオカメラ

きろくした ものを せいりしよう

とじる



めがでたよ。



わたしの
あさがお



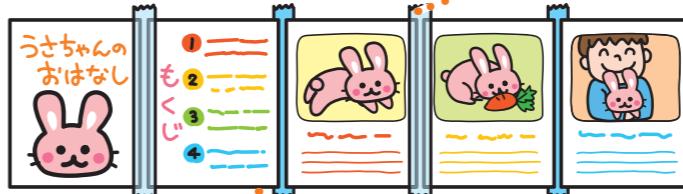
わたしの
あさがお

カードや さくひんを
じゅんばんに ならべる。

ひよう紙を つって パンチで
あなを あける。

リボンで とじる。

おりたたみ 絵本



おもてから テープで とめる。

うらから テープで とめる。



こうごに おりたたむ。



とも かんが 友だちと 考えを ふかめよう

みんなで はな 話そう

はな 話す ことで とも 友だちの かんが 考えている ことが よくわかるよ。とも 友だちの い見を 聞くと じぶん かんが 自分の 考えも ふかまるよ。

- はな あ 話し合う めあてを きめよう。
- とも はなし 友だちの 話を よく 聞こう。
- じぶん けん 自分の い見も い 言おう。
- みんなの けん だ あ い見を 出し合おう。



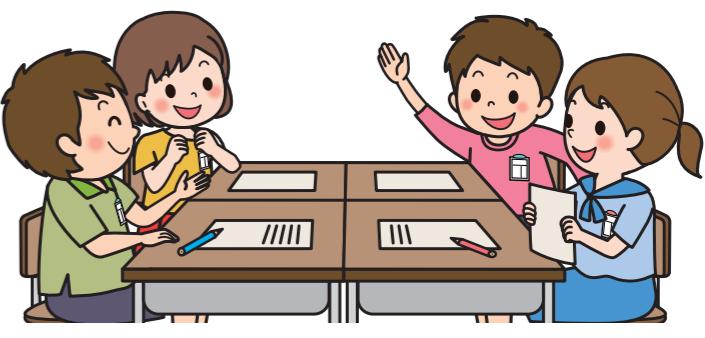
はな 話し合いの ヒント

じぶん かんが 自分の 考えを もとう



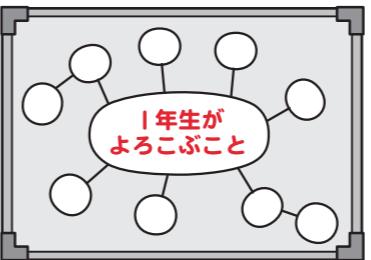
みんなで はな 話し合う 前に
じぶん かんが 自分で 考えて みよう。

みんなの かんが 考えを だ あ 出し合おう



じぶん かんが とも かんが 友だちの 考えを くらべながら
かんが だ あ 考えを 出し合うと わかりやすいよ。

かんが 考えを 広げよう

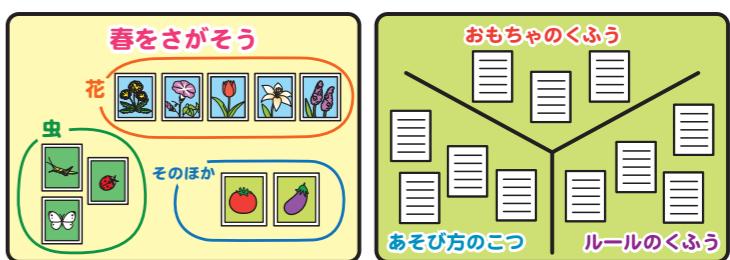


じゅん番を つけよう



- ・じゅん番を つけると みんなが つたえたい ことが わかるよ。
- ・どうして その じゅん番が いいと 考えたかの 理ゆうも はな 話すと いいよ。

なかまに 分けよう



みんなで 考えると 自分の
かんが 考えが ふかまるね。



しらべよう、記ろくしよう、まとめよう、
つたえようなど、豊富な資料が巻末の
「がくしゅううずかん」に集められています。



新しい学習指導要領にもぴったり！



学習指導要領のキーワードと大切にしたこと

- 1 主体的・対話的で深い学び [やってみたい！単元導入] 40
- 2 主体的・対話的で深い学び [気付きの質が高まる学習活動] 42
- 3 主体的・対話的で深い学び [言語能力の育成] 44
- 4 資質・能力の3つの柱 46
- 5 社会に開かれた教育課程 48
- 6 QRコンテンツ 49
- 7 カリキュラムデザイン 50
- 8 教師の手立てが見てわかる 52
- 9 防災教育・学校安全 54
- 10 衛生面 56
- 11 健康面 56
- 12 環境教育・ESD 57
- 13 伝統や文化に関する教育 57
- 14 人権や福祉 58
- 15 インクルーシブ教育 58

次のページからは、学習指導要領のキーワードや、今日的な課題への配慮などを説明していくよ。



主体的・対話的で深い学び 「やってみたい！」単元導入

新しい教科書では、
単元導入を強化
しました！



☆ わくわくの扉

わくわくの扉は、子どもの経験や体験を大切にしながら日常生活から生活科がはじまるよう編集しました。一人ひとりの子どもが思いや願いをもつこと、学びの見通しをもつことが、その後の主体的な学習活動につながります。



魅力あふれる単元導入が、
子どもたちを直接体験へと誘いこむ。

☆ わくわくボックス

わくわくボックスには、「なぜだろう？」「ふしぎだな」「楽しそう！」と子どもの心を揺さぶり、「やってみたい」、「～したい」という思いや願いを高める学習活動を設けています。



主体的・対話的で深い学び 気付きの質が高まる学習活動

多様な学習活動

見付ける 比べる たとえる 試す 見直す 工夫する

気付いたことを基に考えるための、見付ける、比べる、たとえる、試す、見直す、工夫するなどの多様な学習活動の例を写真・表現物・イラスト・子どもの台詞などで示しています。



協働的な学び

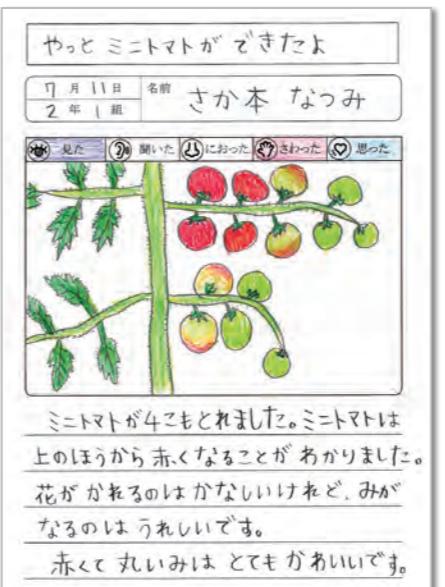
子どもたちが対話によって自分の考えを広げたり、深めたりする場面を設定しています。



ステップブック p.3

カード

子どもの発見や感動を例示しています。



キャラクター

気付きを促したり、疑問を投げかけたりなど、子どもの活動を適切に支援しています。

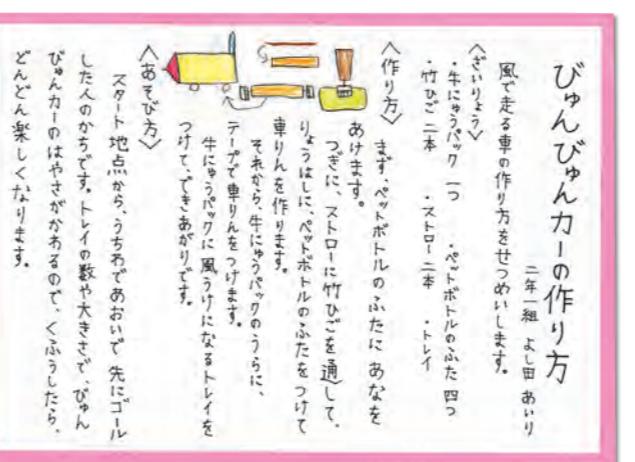
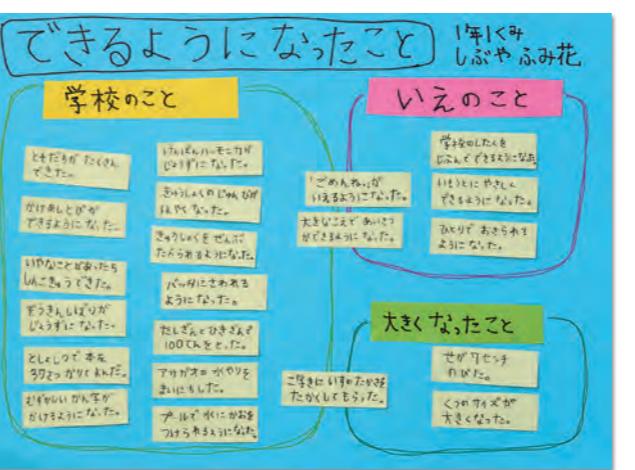


主体・対話的で深い学び 言語能力の育成

低学年の子どもは、自分の思いや考えを表現していく中で、学んだことを認識して深めています。発達段階や他教科等との関連、中学年以降への接続など、さまざまなことに配慮して系統的に言語活動を設定しています。



低学年だからこそ
育てたい表現力が、ここにある。



単元名	表現活動
いくぞ!がっこうたんけんたい	・絵だけのカード・絵と文字2行のカード ・発表(複数人で前に出る)
げんきにそだてわたしのはな	・「いくつはながさいたかな」カード[算数] ・伝え合い(2人)・あさがおの種ぶくろ ・絵本(リボンで綴じる)・クイズ ・賞状(自己肯定感を高める)
あそびばにでかけよう	・絵と文字3行のカード・伝え合い(2人) ・発表(ICT機器, 1人で前に出る)
なつとなかよし	・黒板の活用(分類)・造形遊び[図画工作] ・絵[図画工作]・絵日記[国語]
生きもの大きさ	・発表(ICT機器)・発表(ペーパーサート) ・絵[図画工作]・身体表現[体育] ・リズム表現[音楽, 体育]
あきとなかよし	・諸感覚を使ったカード ・おもちゃづくり[図画工作, 理科] ・交流活動
ひろがれえがお	・黒板の活用(Yチャート)・手紙[国語] ・年賀状[国語]・お礼の手紙[国語]
ふゆとなかよし	・発表(実物を使う)
もうすぐ2年生	・相互評価・ふせんを活用したまとめ ・交流活動(幼児)
単元名	表現活動
新しいこといっぱい	・イメージマップ・あさがおの種ぶくろ ・入学おめでとうメダル・俳句[国語]
大きくそだてわたしの野さい	・伝え合い(グループ)・絵本 ・野菜名人へお礼の手紙[国語] ・クイズ(ICTの活用)
とび出せ!町のたんけんたい	・絵地図[社会科]・発表(ICTの活用) ・ペーパーサート・クイズ
みんな生きている	・交流・クイズ(ICTの活用) ・パズル・絵本・新聞[国語]
せかいでひとつわたしのおもちゃ	・交流[理科] ・おもちゃの説明文[国語]
もっとしりたいたんけんたい	・絵地図[社会科]
町のすてきつたえたい	・クイズ・新聞[国語]・劇 ・招待状[国語, 図画工作]・交流(地域の方) ・黒板の活用(Yチャート)・作文[国語]
これまでのわたし これからのわたし	・自分年表・相互評価(自己肯定感を高める) ・インタビュー[国語]・ペーパーサート ・新聞[国語]・紙しばい・まきもの

4 資質・能力の3つの柱

1 知識及び技能の基礎

こんなときどうしよう

あいさつやマナー、安全上の注意などの基本的な生活習慣や知識及び技能は「こんなときどうしよう」などの各種コーナーで学習できるように工夫しています。

豊富な資料

上下巻末の「がくしゅうずかん」では、調べ方・記録のしかた・話し合いの工夫・まとめ方などが一連で示されたり、道具の使い方・安全上の注意などが示されたりして、基本的な知識及び技能や学び方が身につくよう工夫しています。



2 思考力、判断力、表現力等の基礎

3段階構成

生活科の学びのプロセスを考慮し、単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、低学年の学びの基礎や探究的な学び方が身につくように構成しています。

多様な学習活動

気付いたことを基に考えるための、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動の例を写真・表現物・イラスト・子どもの台詞などで示しています。

言語活動の充実

言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動が発達段階や合科的・関連的指導、中学年への接続等に配慮しながら、組織的・系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身につくように配慮しています。

わく
わく

いき
いき

ぐん
ぐん

3 学びに向かう力、人間性等

単元末の「ぐんぐん」紙面では、学習をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えとなり、学習したことを次の学習や生活へ生かそうとする態度を育てます。

できるかな できたかな？

学習を通して気付いたこと、わかったことを主体的に確かめることができるように、活動をふり返る視点の例を示しました。

- ・子どもにとって
自己評価の視点になります。
- ・先生方にとって
育てたい子どもの姿を具体的に示しているため、指導や評価に役立ちます。

できるかな できたかな？

なんかい
何回も ためして おもちゃを 作ったよ。



みんなで 楽しく あそぶ
くふうを したよ。



ともだちの おもちゃの すてきを
見つけたよ。



ひろがる
きもち

ねんせい
1年生を しょうたい
したいな。

どう したら ねんせい
1年生も
の 楽しめるかな？



ひろがるきもち

学習を通して学んだことを、さらに深く学ぼうとしたり、生活に生かしたりしようとす
る姿を示しています。

社会に開かれた教育課程

家庭との連携

保護者との共有

家庭との連携が重要な内容には、保護者の方へのメッセージを記載しています。

保護者の皆様へ

入学当初の子どもにとって、1人または集団で登下校することは、大きな環境の変化です。また、1年生の交通事故は他学年よりも多く発生している傾向があります。家庭と学校のいっそうの連携を目指し、通学の「安心・安全」について、ご家庭でもご確認ください。

上巻 p.1

多様な家庭への配慮

写真やイラストは、子どもの多様な家庭環境に配慮しています。また、家族単元や成長単元では、子どもの多様な家庭環境に十分に配慮して単元を構成しています。

地域との連携

地域社会との連携に配慮し、地域の方と関わる活動や学校での出来事を通して、自分の住む町が好きになり、子どもが地域の一員として生活をより良くしようとする姿勢を示しています。



ステップブック p.4-5

QRコンテンツ

コンテンツ一覧



紙面にQRコードを掲載し、学習内容と関連する参考情報をタブレット端末やスマートフォンなどで閲覧できるようにしています。学習意欲を高め、家庭で主体的に学習する際にも参考になるようにしています。QRコード対応機器以外でご使用される際は、<https://k-qr.com/011>にアクセスしてください。なお、コンテンツデータは指導書付録DVDにも収録予定です。

動画



- けん玉の技
- 草花遊び
- 手遊び歌 など

スライド



- 生き物の育て方
- はさみの使い方
- 野菜の育て方 など

音声



- 虫の鳴き声
- セミの鳴き声
- 鳥の鳴き声 など

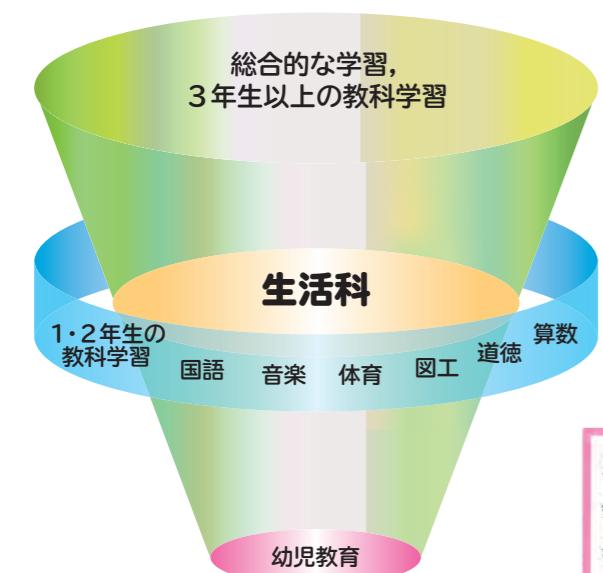
啓林館WEB ずかん



※インターネット接続に必要な費用やパケット通信料などは、使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上、ご利用ください。

7 カリキュラムデザイン

子どもの発達段階や特性を踏まえて、幼児教育・他教科とのつながり・中学年以降の教科等への接続に配慮しています。カリキュラム・マネジメントの参考になる内容構成です。生活科と他教科等との連携を図ることで、指導の効果が高まり、低学年教育全体が充実します。



幼児教育

国語

上巻 p.31



体育

上巻 p.65



算数

下巻 p.67



算数

上巻 p.31



上巻 p.64



図画工作



音楽

上巻 p.65



上巻 p.68-69



社会科

下巻 p.36



下巻 p.62



総合

ステップブック p.3

教師の手立てが見てわかる



板書・ICT活用

子どもの気付きを共有化・可視化するための、板書、付箋、ICTを活用する学習活動を豊富に例示しています。



教師の言葉かけ

経験の浅い先生でも安心して指導できるように、子どもの経験から活動を引き出したり、子どもの思考を深めたりする教師の言葉かけや働きかけの例を豊富に掲載しています。

経験を引き出す

ようちえんや ほいくしょでは
どんなあそびを したかな?



意味づける

くらべると ちがいが
よくわかりますね。

価値づける

なども ためして
気づいたんですね。

表現を引き出す

どんな かたちにみえるかな?

称賛する

野さいと いっしょに
みんなも せい長 したんだね。

説明する

つたえる ないようや あい手に
合わせて つたえる 方ほうを
えらぶと いいですよ。



上巻 p.92



学びの深まり

子どもの台詞などから、学習の流れのイメージが湧くように工夫しています。



経験の浅い先生でも
安心して
指導できる



自然災害、交通災害、人的災害

自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点をもとに、適切な行動や基本的な知識が身につくよう資料が充実しています。また、子どもの安全を家庭と学校が連携して考えられるように、保護者の方へのメッセージを掲載する工夫をしています。

あんしん あんぜん

じしん

18

上巻 p.18-19

保護者の皆様へ

災害は突然起る危険性があります。このページでは、小学校低学年のお子さんでも理解できる範囲で、学校にいるときに災害が起きた際の避難の約束を示しています。ご家庭でも災害のときにどうするかご確認いただき、防災の参考にしてください。

かじ

たてもののなかではひくくかがんでにげる。

つなみ

ちかくてたかいばしょにひなんする。

ひなんのやくそく おはしも

お さない

は しらない

し やべらない

も どらない

ちゃれんじ

- つくえのしたにかくれる
れんしゅうをしてみよう。
- きょうしつから たいいくかんや
こうていにひなんしてみよう。

19

いかの お す し

いかない の らない お お ご え を だす す ぐ に げ る し ら せ る

上巻 p.1

危険な生き物

写真を用いて事前に確認できるように「きをつけよう」のコーナーで示しています。

きをつけよう !

下巻 p.47

啓林館WEBずかん

掲載しきれない危険な生き物は、啓林館WEBずかんの「危険な生き物ずかん」に収録しています。

道具の使い方

イラストを用いて、児童にわかりやすく示しています。

- はさみの使い方
- カッターナイフの使い方
- スチレンカッターの使い方
- のり、接着剤の使い方
- きり、千枚通し、パンチの使い方
- ステープラの使い方
- 虫眼鏡の使い方

上巻 p.39

教科書の特色

教科書紙面のサンプル

学習指導要領のキーワードと大切にしたこと

観点別特色一覧表

54

55

10 衛生面

栽培活動

生野菜については家庭での管理のもとで食べるよう促しました。

飼育動物

環境省により「緊急対策外来種」に指定され、ザリガニカビ病などの衛生面の不安のあるアメリカザリガニの掲載を避けました。

手洗いマーク

飼育・栽培活動の前後の手洗いを徹底しています。



62

上巻 p.62

11 健康面



基本的生活習慣

歯磨き、手洗い、うがい、早寝早起きなど基本的な生活習慣が身につき、健康に生活ができるようになるためのきっかけとなる内容を記載しています。また、夏休みなどの長期休暇の過ごし方にも配慮しています。



アレルギーへの配慮

学習をはじめる前に、動物や昆虫等のアレルギーについて確認できるように配慮しています。

ご指導される先生方へ：学習をはじめる前に、児童のアレルギーの有無(動物や昆虫など)について保護者の方にご確認ください。

上巻 p.58

12 環境教育・ESD(持続可能な開発のための教育)

学校内のビオトープ、落ち葉での堆肥作り、リサイクルなど、環境に目を向けさせ、自然のすばらしさを実感し、これらを大切にする心が育つようにしています。SDGs(持続可能な開発目標)にもつながっていく考え方です。



生態系への配慮

飼育動物については、環境省の生態系被害防止外来種リストで「緊急対策外来種」に指定され、生態系に大きな影響を及ぼすアメリカザリガニの掲載を避けました。教材として飼育する場合は、野外に放流しないようにし、外来生物と正しく関わる配慮が必要です。

環境省 (<https://www.env.go.jp/nature/intro/>)

そだてることができる
かず
数だけつかまえようね。



下巻 p.47



13 伝統や文化に関する教育

季節の行事や歌を例示し、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるように工夫しています。



あき
きょう
秋の行



70

●おわら風の盆(岐阜県 岩出市)

●秋あだんじ祭り(奈良県 丹生町)

●奈良けんか舞(奈良県 奈良市)

●海津くんち(岐阜県 海津市)

71

ジェンダー、男女平等

イラスト、写真などの男女比がほぼ同比率になっており、さらに性別によって服装の色や種類が固定的にならないように配慮しています。

多様な人々

幼児や高齢者、外国人、障がいのある方など、こだわりなく関わることができ、誰もが住みやすい社会を目指そうとする意識が自然に芽生えるように工夫しています。

また、イラストで、車椅子を使用する子どもが設定され、ともにいきいきと活動している様子を紹介しています。

国際理解

上巻・下巻ともに、写真やイラストに外国人の子どもが設定され、ともにいきいきと活動する様子を示しています。また、外国のけん玉や外国のあいさつ、外国語表記の看板などを掲載し、子どもが異なる国の文化に興味関心が高まるように工夫されています。



ユニバーサルデザイン書体(UD書体)を採用

本文には、誰もが識字しやすいように、読みやすく開発されたUD書体を採用しています。
(国語科や書写での文字指導にも即した点画の正しい書体を採用しています。)

他の書体

UD書体

MUD協会（内閣府認証NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会）

色覚特性を含めた、すべての人が見やすく、読みやすいデザインを行い、MUD協会の認証を申請中です。



特別支援教育

特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく、落ち着いて学習できるように工夫しています。

観点別特色一覧表

1 生活科の目標	60
2 資質・能力の3つの柱	61
3 教科書の構成・配列	62
4 内容の選択・扱い	63
5 カリキュラム・マネジメント、他教科との関連	65
6 幼児教育とのつながり	66
7 中学年以降へのつながり	66
8 今日的な教育課題	67
9 表記・表現	71
10 用紙・印刷・製本	72

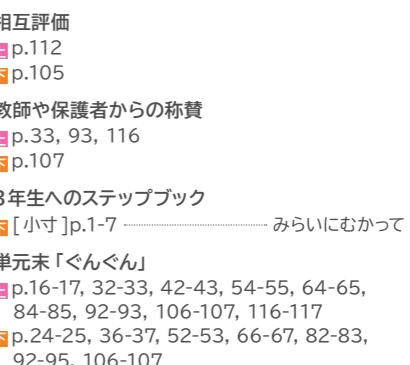
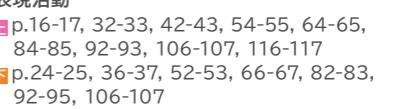


1. 生活科の目標

観点	啓林館の特色	具体例
1	<p>具体的な活動や体験を通して、学習が展開できるようになっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元導入は、児童が笑顔で活動している写真から始まっており、単元の始めから具体的な活動が見える構成になっている。 ・見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動が豊富に紹介されている。 ・充実した活動や体験を通して、児童の「書きたい」「発表したい」という意欲を育て、体験活動と表現活動が繰り返されることで児童の学びの質が高まるように工夫されている。 	<p>単元導入 上p.2-3, 20-21, 34-35, 44-45, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99, 108-109 下p.2-3, 12-13, 26-27, 42-43, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99</p> <p>対象に直接働きかける学習活動 上p.6-15, 24-31, 36-41, 48-51, 60-63, 66-67, 76-83, 90-91, 96-97, 102-105, 112-115 下p.6-9, 16-23, 32-39, 46-51, 62-67, 78-81, 92-93, 102-105</p> <p>表現活動 上p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117 下p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107</p>
2	<p>身近な生活に関わる見方・考え方を生かしながら、思いや願いを実現しようとする展開になっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動や、試行錯誤したり、繰り返したりして、何度も対象と関わる学習活動が豊富に掲載されている。 ・活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などで表現する活動が豊富に掲載されている。 ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりでとらえ、よりよい生活に向けて思いや願いを実現していこうとする児童の姿が写真やイラストなどで示されている。 	<p>多様な学習活動 上p.48-49 下p.32-33など ----- 見つける 上p.82-83 下p.64-65など ----- 比べる 上p.25, 26, 65 下p.17など ----- たとえる 上p.82-83 下p.58-67など ----- 試す 下p.16, 46など ----- 見通す 上p.50-51, 82-83 下p.21, 48-49など ----- 工夫する</p> <p>多様な表現活動 上p.54-55, 64 ----- 絵 上p.26, 27, 65 ----- 動作 上p.64 下p.117 ----- 効化 上p.43, 64 下p.25, 37, 92, 117など ----- ICT</p>
3	<p>自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を総合的に育成できるようになっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元導入では、幼児期の育ちやこれまでの経験を基礎にし、児童の日常生活から単元が始まるような構成になっている。 ・活動の中で生まれた「もっとこうしたい」などの思いや願いが、次の活動につながるように、連続性のある単元が構成されている。 ・単元末には、ふり返り活動が設けられ、得られた気付きが価値あるものとして意味付けられ、自分の成長や学ぶ楽しさを実感することで、学習したことを次の学習や生活に生かそうとする意欲が高まるようになっている。 ・生活上の自立、学習上の自立、精神的な自立の3つの視点から、児童の自立を支える教師の支援として、言葉かけや板書の活用の例が具体的に示されている。 	<p>単元導入 上p.2-3, 20-21, 34-35, 44-45, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99, 108-109 下p.2-3, 12-13, 26-27, 42-43, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99</p> <p>ふり返り活動 上p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117 下p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107</p> <p>教師の支援（言葉かけ） 上p.7, 9, 17, 26, 31, 32, 45, 62, 81, 90, 92, 104 下p.14, 19, 24, 30, 48, 52, 63, 76, 100など</p> <p>教師の支援（板書例） 上p.54, 92, 110-111, 114 下p.30, 90, 94など</p>

2. 資質・能力の3つの柱

観点	啓林館の特色	具体例
4	<p>知識及び技能の基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面の左上の「小単元名」で具体的な活動が示されており、見通しをもって取り組むことができるようになっている。 ・巻末資料「がくしゅうずかん」には、調べ方・記録の仕方・話し合いの工夫・まとめ方などが一連で示されたり、用具の使い方・安全上の注意などが示されたりして、基本的な知識及び技能や学び方が身につくように工夫されている。 ・基本的な知識及び技能や、あいさつ、マナー、安全に関する注意事項は「こんなときどうしよう」などの各種コーナーで学習できるように工夫されている。
5	<p>思考力、判断力、表現力等の基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科の学びのプロセスを考慮し、単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、探究的な学びが身につくように構成されている。 ・気付いたことをもとに考えるための、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動の例が写真・表現物・イラスト・児童の台詞などで示されている。 ・児童の気付きの質を高めるための教師の支援として、言葉かけや板書の活用の例が具体的に示されている。 ・単元末「ぐんぐん」紙面での、言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用などの多様な表現活動は、発達段階や合科的・関連的指導、3年生への接続等に配慮しながら、組織的・系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身に付くように配慮されている。
6	<p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全単元を通して、思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかける具体的な姿が写真やイラストなどで示されている。 ・自分の良さに気付いたり、自己肯定感が高まったりするように、自分の成長を感じることができる学習活動が設定されている。また、児童が互いのよいところに共感し合ったり、教師の言葉や保護者からの手紙などで称賛したりして、認められるように配慮されている。 ・下巻の巻末では、生活科の学習をふり返る中で、未来に向けての夢と志をもつことができる「3年生へのステップブック みらいにむかって」の資料単元が設定されている。 ・単元末「ぐんぐん」紙面では、学習をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えとなり、次の活動への持続的な意欲が育まれるように工夫されている。 ・単元末「ぐんぐん」紙面の「ひろがるきもち」コーナーでは、生活科の学習が日常生活に広がり、児童が自立し生活を豊かにしうとする姿が具体的に示されている。



3. 教科書の構成・配列

観点	啓林館の特色	具体例
7 教科書の構成・単元の配列は適切か。	・上巻・下巻ともに、季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がり、深まっていくように配列されている。	教科書全体を通して
8 単元の内容・分量は適切か。	・単元名で学習内容の概要がわかり、児童の興味・関心を生かした活動ができるよう、大きくゆったりとしたくくりになっている。	教科書全体を通して
9 長期休暇や休日に対して柔軟な配慮がなされているか。	・上巻・下巻ともに「きせつだより」が設けられている。ここでは、家庭や地域でも、自主的に活動を発展させることができるような例が多く紹介され、学校外でも児童が力をつけていくように工夫されている。 ・町探検において、児童が休日に利用する公共施設（図書館・博物館・駅など）との関わりが紹介されている。	きせつだより 上 p.56-57, 94-95 下 p.10-11, 56-57, 70-71, 96-97 公共施設との関わり 下 p.38-41, 118-119など
10 2学期制に対応しているか。	・9月末～10月初旬に単元の区切りをおき、2学期制にも対応できるよう配慮されている。	9月末～10月初旬からはじまる単元 上 p.58-65 生きもの大きさ 下 p.72-83 もっと知りたいんけんたい
11 複式学級に対応しているか。	・上巻・下巻ともに、1・2年生までに習う漢字すべてにルビが付けられているため、1年生の児童でも下巻の教科書を使用することができるよう配慮されている。 ・活動例や学習対象が多様に紹介され、その中から、学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。 ・巻末資料「がくしゅうずかん」を活用し、より重点的・弾力的な活動ができるようになっている。	（漢字・カタカナの使い方） 上巻（前半） ひらがな 上巻（後半） ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き） 下巻 ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き） 巻末「がくしゅうずかん」 上 p.119-131 下 p.109-128

4. 内容の選択・扱い

観点	啓林館の特色	具体例
12 児童の発達段階が考慮されたものになっているか。	・上巻は主として学校を、下巻は主として地域を活動の場とし、学習指導要領の9つの内容が児童の発達段階を考慮して配列されている。 ・「家庭と生活」に関わる単元は、低学年児童にとって家庭は学校と密接不離な生活環境という観点から上巻に、「成長」に関わる単元は、2年間の活動の集大成という観点から、下巻の最後に重点を置いて配置されている（上巻の成長単元は1年間のふり返りの扱いで最後に配置されている）。	【(2)家庭と生活】 上 p.86-93 【(9)自分の成長】 下 p.98-107
13 主体的・対話的で深い学びにつながる学習ができるようになっているか。	・単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、単元を通して活動が発展し、深めていくようになっている。 ・「次はこうしたい」、「もっとこうしたい」という思いや願いが紙面右下の「めぐり言葉」に例示され、児童の活動の連続性・広がりをサポートできるようになっている。 ・活動を通して身近な人々、社会、自然と繰り返し関わっていくことができるようになっており、活動が繰り返し深まるように配慮されている。 ・町探検の絵地図は、繰り返し使用し、気付いたことを書き足すことで、発見や気付きが増えていったことがわかり、学びが深まる実感を得られるよう工夫されている。 ・児童の思考を促したり、学習を方向付けたり、気付きの質を高めたりする教師の支援の例が具体的に掲載されている。 ・児童の気付きを共有化・可視化するため、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が豊富に掲載されている。	3段階構成 めぐり言葉 町探検の絵地図（繰り返し学びを深める） 下 p.30, 36, 73, 76, 82, 93 定点観測（繰り返し学びを深める） 上 p.12, 48, 76, 102 校庭 下 p.36-37, 78-79 公園 教師の支援（言葉かけ） 上 p.7, 9, 17, 26, 31, 32, 45, 62, 81, 90, 92, 104 下 p.14, 19, 24, 30, 48, 52, 63, 76, 100など 教師の支援（板書例） 上 p.54, 92, 110-111, 114 下 p.30, 90, 94など
14 学びの見通し・ふり返り	・単元導入は、「わくわくの扉」と「わくわくボックス」の4ページで構成され、「～したい」という思いや願いを高めることで、児童自身が学びの見通しをもてるよう構成されている。 ・表現活動は、発表形式のみならず、1対1や、グループ内、現地に出て、身ぶり手ぶり、実物を持ってなど、多様な方法を通して、さらに気付きが深まり、活動に広がりが出るように配慮されている。 ・単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感できるよう工夫されている。	わくわくの扉 上 p.2-3, 20-21, 34-35 下 p.2-3, 12-13, 26-27など わくわくボックス 上 p.4-5, 22-23, 36-37 下 p.4-5, 14-15, 28-29など 表現活動 上 p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117 下 p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107 できるかなできたかな? 上 p.17, 33, 55, 65, 85, 93, 107 下 p.9, 25, 37, 53, 67, 83, 95, 107

観点	啓林館の特色	具体例	観点	啓林館の特色	具体例
15 言語活動が充実するように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元末「ぐんぐん」紙面では、言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動が発達段階や合科的・関連的指導、3年生への接続等に配慮しながら、組織的・系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身につくように配慮されている。 思考と表現が一体的に行われたり繰り返されたりする低学年の特性に配慮しながら、主な活動「いきいき」紙面でも、さまざまな表現方法が紹介され、体験活動と表現活動が繰り返されることで児童の学びの質が高まるように工夫されている。 発表形式のみならず、1対1や、グループ内、現地に出て、身ぶり手ぶり、実物を持ってなど、多様な伝え合い活動を通して、さらに気付きが深まり、活動に広がりが出るように配慮されている。 国語科や書写で学習したことを生かした、作文・新聞・招待状・説明文・パンフレット・ポスター・俳句などの多様な表現物が記載されている。 相手のことを想像して、伝えたいことや伝え方を自己決定できるように、巻末資料の「がくしゅうずかん」に、まとめ方や伝え方を示した資料が掲載されている。 	<p>多様な表現活動</p> <p>■ p.26, 27, 65 身体表現 ■ p.65, 84 歌やダンス ■ p.54-55, 64 絵 ■ p.64 □ p.117 劇 ■ p.43, 64 □ p.25, 37, 92, 117 ICT ■ p.17, 84-85, 106-107, 105 実物の使用 ■ p.33 □ p.37, 91, 117 クイズ ■ p.37, 105 ペーパーサート ■ p.32 □ p.105 絵本・まきもの ■ p.105, 116 紙芝居 ■ p.92-93, 117 カルタ</p> <p>伝え合い活動、表現活動</p> <p>■ p.8-9, 16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117 □ p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107</p> <p>国語科や書写との関連</p> <p>■ p.95 作文 ■ p.53, 91, 105, 116 新聞 ■ p.91, 106 招待状 ■ p.67 説明文 ■ p.117 パンフレット ■ p.80 ポスター ■ p.9, 117 俳句 ■ p.95 年賀状 ■ p.97 □ p.25, 107, 122 手紙</p>	19 気付きの質の高まりに十分目を向けられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元は導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、紙面左上にマークを付して目立たせることで、単元を通して活動が発展し、深まっていくことが見て取れるようになっている。 単元内の活動は、基本的に見開き単位で構成され、それらが単発の活動にならないように、紙面右下の「めぐり言葉」で、「次はこうしたい」、「もっとこうしたい」という思いや願いが掲載されている。これにより、次の活動に思いや願いをもって深めていくようになっている。 直接体験を通した児童の発見や感動は、気付きへつながる重要な手がかりであり、これらが写真・イラスト・カード・本文・キャラクターの台詞で表現されることで、気付きに目が向くように+分配慮されている。 教師が児童とともに活動したり共感したりするようすが取り上げられ、児童の気付きが深まる例が随所に示されている。 	 <p>3段階構成がわかるマーク</p>
16 個に応じた指導ができるように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の活動をより広げ、深めるものとして発展的な内容が巻末資料に設けられている。 巻末の豊富な資料により個に応じた学習が行いやすくなっている。 	<p>発展的な内容</p> <p>■ p.123 リサイクルしよう (社会科4年) ■ p.126-127 せかいとつながろう (外国語教育など)</p> <p>巻末資料「がくしゅうずかん」</p> <p>■ p.119-131 □ p.109-128</p>	20 協働的な学習活動ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、自分たちで企画立案や伝え合いをしながら活動を深めるようすが紙面に示されている。 ふせんなどを活用して、町探検で町の人にインタビューする項目をグループごとに考えたり、気付いたことをまとめたりする具体的なようすが紙面に示されており、協働的な学習活動により気づきの質が高まるよう配慮されている。 協働的な学びが自然と生まれるように、机の配置を3~4名のグループで設定するなど、場の設定や授業環境の工夫が紙面の写真やイラストから見てわかるようになっている。 紙面右上の「こんなときどうしよう」のコーナーでは、単元の学習の中で生じると予想される課題がイラストで示されており、クラスでの話し合いとして活用できるようになっている。 巻末資料の「がくしゅうずかん」では、「友達と考えを深めよう」の資料が設けられており、グループでの話し合いの方法やクラスでの話し合いの方法、話し合いのヒントなどが示され、児童の協働的な学びをサポートしている。 	<p>協働的な学習活動</p> <p>※教科書全体を通して掲載しています。</p> <p>■ p.8, 16, 32, 42, 54, 82, 83, 92など ■ p.16, 24, 30, 36, 46, 48, 51, 63, 77, 82, 90など</p> <p>こんなときどうしよう</p> <p>■ p.7, 11, 27, 39, 41, 57, 77など ■ p.17, 19, 31, 33, 35, 39, 41, 47, 49など</p> <p>巻末資料「がくしゅうずかん」</p> <p>■ p.124-125 ともだちとかんがえをふかめよう ■ p.114-115 友だちと考えをふかめよう</p>
17 評価に関して、教科書が適切に利用できるようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな?」コーナーは、教師にとって、その単元で育てたい児童の姿がわかり「評価の手がかり」になるよう工夫されている。また、児童にとっては、「自己評価の視点の例」として、活用できるようになっている。 児童の作品やキャラクターの発言、カード類において、自分の成長や相互評価の例がとりあげられ、評価につながるように配慮されている。 児童が互いのよいところを共感し合ったり、教師の言葉や保護者からの手紙などで称賛したりして、認められるように配慮されている。 	<p>できるかなできたかな?</p> <p>■ p.17, 33, 55, 65, 85, 93, 107 ■ p.9, 25, 37, 53, 67, 83, 95, 107</p> <p></p> <p>相互評価</p> <p>■ p.112 □ p.105</p> <p>教師や保護者からの称賛</p> <p>■ p.33, 93, 116 □ p.107</p>	21 他教科との関連を図ることで指導の効果が高まるような工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国語科 (話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと)、算数科 (かず、時間)、音楽科 (歌)、図画工作科 (製作、造形)、体育科 (ゲーム、ダンス)、道徳科 (生命の尊さ、伝統文化)などの各教科等の学習で育成を目指す資質・能力との関連を考慮し、学習活動の充実を図る工夫がされている。 他教科との関連がある具体的な活動には、合科的・関連的な学習活動を示すマークが付けられている。 	<p>国語科との関連</p> <p>■ [小寸] p.10-11, p.16-17, 32-33, 43-45, 64-65, 92-93, 106-107, 116-117 ■ p.24-25, 30-37, 78-83, 90-95, 106-107など</p> <p>書写との関連</p> <p>■ [小寸] p.11, p.112 □ p.91, 106</p> <p>算数科との関連</p> <p>■ [小寸] p.11, p.29, 31, 84など</p> <p>音楽科との関連</p> <p>■ [小寸] p.8-9, 11, p.65, 84など</p> <p>図画工作科との関連</p> <p>■ [小寸] p.10, p.50-51, 54-55, 64-65, 84-85 ■ p.58-67など</p> <p>体育科との関連</p> <p>■ [小寸] p.11, p.27, 64-65など</p> <p>道徳科との関連</p> <p>■ p.68-69, □ p.84-85, 108など</p>
18 身近な素材を使って活動ができるようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃなどの製作活動では、多くの身近な素材を使用して多様な活動に取り組めるようになっている。 自然活動に際しては、身近な動物や植物などの自然との関わりに興味・関心をもてるよう、資料を豊富に掲載している。 動植物を探り過ぎないように配慮されていたり、おもちゃ作りの活動後は素材を無駄にしないように促されてたりして、環境への意識も高まるようになっている。 	<p>おもちゃ単元</p> <p>■ p.58-69 せかいでひとつわたしのおもちゃ</p> <p>飼育単元</p> <p>■ p.58-67 生きもの大きさ ■ p.42-55 みんな生きている</p> <p>栽培単元</p> <p>■ p.20-33 げんきにそだてわたしのはなし ■ p.12-25 大きくそだてわたしの野さい</p>			

観点	啓林館の特色	具体例	観点	啓林館の特色	具体例
22 道徳教育の充実に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「生命の尊さ」、「家族愛、家庭生活の充実」、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」など、道徳科の学習と生活科の学習の効果が相互に高められるよう道徳科の学習に関連する紙面が充実している。 あいさつやマナーは、「こんなときどうしよう」などのコーナーで学習できるように工夫されている。 	<p>善悪の判断、自律、自由と正義 上p.7, 39 下p.31</p> <p>礼儀 上p.11</p> <p>生命の尊重 上p.20-33, 58-67, 68-69 下p.12-25, 42-53</p> <p>親切、思いやり 上p.38</p> <p>伝統と文化の尊重 上p.57, 96-97 下p.10-11, 56-57, 70-71, 96-97</p> <p>家族愛、家庭生活の充実 上p.86-93</p> <p>国際理解、国際親善 下p.126-127</p>	26 理科へのつながりに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 栽培活動は、上巻では花を、下巻では野菜を扱い、植物の一生や生命の連続性への気づきにつながるよう工夫されている。 飼育活動は、上巻では身近な生き物と関わりをもつこと、下巻では身近な生き物の長期的な飼育を扱い、生命の連続性への気づきにつながるよう工夫されている。 おもちゃ作りでは、風・ゴム・磁石・空気などの視点の例示があり、遊びながら物の性質や働きに気付くよう工夫されている。 校庭や公園のイラストは、同じ場所が描かれ、自然のすばらしさや季節の変化を感じられるようになっている。 一人ひとりの児童が思いや願いの実現に向けて試行錯誤するようすが示され、問題解決の過程への基礎が養われるようになっている。 	<p>飼育単元 上p.58-67 生きもの大きさ 下p.42-55 みんな生きている</p> <p>栽培単元 上p.20-33 げんきにそだてわたしのはな 下p.12-25 大きくそだてわたしの野さい</p> <p>おもちゃ単元 下p.58-69 せかいでひとつわたしのおもちゃ</p> <p>定点観測イラスト 上p.12, 48, 76, 102 校庭の定点観測 下p.36-37, 78-79 公園の定点観測</p>
6. 幼児教育とのつながり			27 総合的な学習の時間へのつながりに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な活動や体験を通じて、気付いたことをもとに考えたり、主体的にまた、協働して多様な学習活動を行ったりすることで、「総合的な学習の時間」にスムーズにつながるよう工夫されている。 単元は、生活科の学びのプロセスに沿って、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、それらの学びをくり返すこと、総合的な学習の時間につながる、探究のプロセスの基礎を養えるように構成されている。 	<p>協働的な学習活動 ※教科書全体を通して掲載しています。</p> <p>上p.8, 16, 32, 42, 54, 82, 83, 92など 下p.16, 24, 30, 36, 46, 48, 51, 63, 77, 82, 90など</p>
23 幼児教育との接続・スタートカリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえて、児童が主体的に自己を発揮しながら、安心して学校生活を始められるように上巻の巻頭に、すたあとぶつく「がっこうだいすき あいうえお」の単元が設定されている。 入学当初の緊張感のある児童が遊びを通して関わることで、児童の人間関係が豊かに広がるように配慮されている。 幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における学習に円滑に移行できるよう、歌や遊びを取り入れた活動や、生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の例示が充実している。 入学当初だけでなく、その後の単元においても、幼児期の学びや育ちを生かして自己を発揮できるよう配慮されている。 	<p>すたあとぶつく 上[小寸]p.1-16 がっこうだいすきあいうえお</p> <p>教師の言葉かけ働きかけ 上[小寸]p.7, 9, 11</p> <p>歌や遊びを取り入れた学習活動 上[小寸]p.8-9, 11</p> <p>合科的・関連的な学習活動 上[小寸]p.9-10(図画工作, 国語, 体育, 算数, 音楽)</p> <p>幼児期の学びや育ちとのつながり 上p.21, 45, 59 下p.14</p>	28 中学年以降へのつながりに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の活動内容から無理なく発展するように、本編の活動内容と上位学年の学習内容との関連を配慮しながら設定されている。 下巻の巻末では、生活科の学習をふり返る中で、未来に向けての夢と志をもつことができる「3年生へのステップブック みらいにむかって」の資料単元が掲載されている。 	<p>3年生へのステップブック 下[小寸]p.1-7 みらいにむかって</p> 
24 保幼小交流活動	保幼小交流	上p.43, 85, 114-117	8. 今日的な教育課題		
7. 中学年以降へのつながり			29 防災教育・減災教育への配慮が十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 災害は、自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点をもとに、適切な行動や基本的な知識が身につくよう資料が充実している。 登下校に関する交通安全の資料は、1年生の4月の段階で指導できるよう配列になっている。 登下校に関する交通安全の資料には、保護者の方へのメッセージを掲載し、家庭と学校が連携して児童の安全を考えられるよう工夫されている。 地震、火事、津波などの自然災害に関する資料は、上巻では学校探検の単元末に掲載されており、学校の施設や役割とともに学習したり、1学期の避難訓練などと同時に指導できたりするようになっている。下巻では、巻末資料「がくしゅうずかん」に掲載されており、いつでも確認できるようになっている。 防災に関するさまざまな標識やマークを掲載することで、児童の安全への意識や、基本的な生活習慣や技能が自然と高まるよう工夫されている。 	<p>防災に関する資料 上[小寸]p.16, p.1(登下校, いかのおすし, 地震, 標識) 上p.14-15(地域の人, 子ども110番) 上p.18-19(地震, 火事, 津波, おはしも, 避難訓練) 下p.33(避難の標識) 下p.120(避難の標識) 下p.128(地震, 火事, 津波, おはしも)</p> <p>保護者の方へのメッセージ 上p.1, 19</p>

観点	啓林館の特色	具体例	観点	啓林館の特色	具体例
30 安全教育への配慮が十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 危険な生物（スズメバチ、チャドクガの幼虫など）については、「きをつけよう」のコーナーに写真を掲載し、活動前に安全指導ができるようになっている。 交通安全や道具を使うときの注意などは、キャラクターの発言やマークなどを適所で的確に押さえられている。 はさみやカッターナイフなどの道具の使い方や、危険な生き物に対する注意など、安全への配慮が充実している。 熱中症が心配される夏の単元では、帽子を着用したり、校庭のイラストに水筒を描き込んだりなどの配慮がされている。 	<p>危険な生き物 上p.41, 77 下p.47</p> <p>道具の使い方 上p.130(はさみ, のり, 接着剤, きり) 下p.124(カッターナイフ, スチレンカッター, のり, 接着剤, ステープラ, 千枚通し, パンチ)</p> <p>熱中症への配慮 上p.12, 36, 37, 39, 48, 50 下p.32, 33など</p>	37 生命尊重への配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 飼育や栽培を通して、生命の誕生や命のあたたかさなどにふれ、生命の大切さや慈しむ心を育てるとともに、生命の連続性に気づくように配慮されている。 資料では、生き物のいろいろな姿や飼育方法が示され、気付きがサポートされるようになっている。 	<p>飼育単元 上p.58-67 下p.42-55</p> <p>栽培単元 上p.20-33 下p.12-25</p> <p>飼育や栽培の資料 上p.70-71 下p.54-55 下p.125</p>
31 アレルギーなどへの配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 飼育においては、学習をはじめる前に、動物や昆虫などのアレルギーについて確認できるように配慮されている。 	<p>ご指導される先生方へのメッセージ 上p.58 下p.42</p>	38 環境教育・ESD（持続可能な開発のための教育）・SDGsへの配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学校内のビオトープ、落ち葉での堆肥作り、リサイクルなど、環境に目を向けさせ、自然のすばらしさを実感し、これらを大切にする心が育つようになっている。 飼育単元では、乱獲防止を促すキャラクターの台詞を掲載し、生態系を大切にする心が育つよう配慮している。 飼育単元では、環境省が作成した「生態系被害防止外来種リスト」で「緊急対策外来種」に指定され、生態系に大きな影響を及ぼすアメリカザリガニの掲載を避けている。 下巻p.55では、外来生物の自然環境への影響を低学年の児童にもわかるように示しており、外来生物との関わり方や環境問題などに目を向けさせることができるようにになっている。 	<p>自然を大切にする心を育てる 上p.12, 48, 76, 102 上p.85 下p.69</p> <p>落ち葉での堆肥作り 下p.123</p> <p>リサイクルをしよう 下p.123</p> <p>乱獲防止 下p.47</p> <p>そだてることができる数だけつかまえようね</p> <p>飼育単元 上p.58-67 下p.42-55</p> <p>生きものの大さき みんな生きている</p> <p>外来生物との関わり方 下p.55</p>
32 衛生面への配慮が十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 飼育、栽培においては、活動の前後に手洗いなどの衛生面への注意を促されている。 ザリガニカビ病などの衛生面の不安のあるアメリカザリガニの掲載を避けている。 	<p>飼育単元 上p.58-67 下p.42-55</p>	39 さまざまな情報手段の活用が示唆され、情報教育への配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 情報の発信者、受信者、利用者としての視点で、低学年でも可能なさまざまな情報手段の活用を示唆している（インタビュー、図鑑で調べる、電話、手紙、デジタルカメラ、インターネット、電子黒板、掲示板の活用など）。 巻末資料において、「しらべよう」、「きろくしよう」、「友だちと考えを深めよう」、「まとめよう つたえよう」など、情報の活用のしかたを一連のものとして見ることができるようになっている。 	<p>巻末資料「がくしゅうずかん」 上p.121 上p.122 下p.111 下p.122 下p.110-111 下p.112-113 下p.114-115 下p.116-117</p>
33 人権や福祉への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 幼児や高齢者、外国人、障がいのある方など、こだわりなく関わることができ、誰もが住みやすい社会を目指そうとする意識が自然に芽生えるように工夫されている。 イラストで、車椅子を使用する児童が設定され、ともにいきいきと活動しているようすが紹介されている。 	<p>多様な人が描かれているイラスト 上p.36-37 上p.78-79 下p.28-29 下p.126-127</p> <p>公園の俯瞰図 公園の俯瞰図 町の俯瞰図 せかいとつながろう</p> <p>車椅子を使用する児童 上[p.6, 15, p.6, 12, 14, 42, 48, 76, 79, 84, 106] 下p.9, 32, 36, 67, 92</p>	40 ICT機器を適切に活用できるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に配慮しながら、デジタルカメラ、コンピュータ、タブレット端末、電子黒板、インターネットなど、ICTを活用する学習活動が例示されている。 ICTが有効な場面には紙面にQRコードが掲載されており、学校や家庭で学習の助けになる教材（動画・補充資料など）が利用できるようになっている。 	<p>ICTの活用 上p.37, 43, 64, 79, 121, 122など 下p.21, 25, 37, 39, 52, 92, 95, 111, 113, 117など</p> <p>QRコンテンツ 上p.1, 3, 21, 35, 45, 59, 73, 81, 97, 99, 119, 131など 下p.10, 11, 13, 15, 27, 43, 56, 57, 59, 70, 71, 73, 96, 97, 109など</p>
34 男女平等への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> イラスト、写真などの男女比がほぼ同比率になっており、さらに性別によって服装の色や種類が固定的にならないように配慮されている。また、家庭での役割や社会進出の面で、男女に差が生じないようになっている。 	教科書全体を通して	41 キャリア教育に十分目を向けられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の店や公園などを訪問したり、利用したり、そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で、その人たちへの感謝や憧れの気持ちをもつとともに、自分の夢や未来について考えることができるように工夫されている。 低学年におけるキャリア教育で大切な、自分の好きなこと、得意なことを増やし、さまざまな活動への興味・関心を高めながら意欲と自信をもって活動することができるような学習活動が多様に掲載され、また、それを実感できる「3年生へのステップブック みらいにむかって」の資料単元が掲載されている。 	<p>働く人の関わり 上p.38 下p.32-35, 38-41, 78-81など</p> <p>3年生へのステップブック 下[小寸]p.1-7 みらいにむかって</p> 
35 国際理解へつながる配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 上巻・下巻ともに、写真やイラストに外国人の児童が設定され、ともにいきいきと活動する姿が示されている。 多様な言語で表記されている標識や、あいさつなどが掲載されている。 外国のけん玉を記載し、児童が異なる国の文化に興味関心が高まるよう工夫されている。 	<p>外国人の児童 上p.5, 6, 11, 12, 13, 15, 17, 24, 36, 37, 41, 49, 50, 54, 60, 65, 74, 76, 78, 79, 83, 84, 85, 88, 92, 102, 104, 106, 107, 113, 114, 116, 117 下p.4, 5, 6, 15, 21, 33, 36, 37, 52, 59, 63, 64, 66, 76, 92, 93, 94, 99, 102</p> <p>巻末資料「がくしゅうずかん」 下p.126-127</p>	42 	43 キャリア教育に十分目を向けられているか。	44 地域の店や公園などを訪問したり、利用したり、そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で、その人たちへの感謝や憧れの気持ちをもつとともに、自分の夢や未来について考えることができるように工夫されている。
36 伝統や文化に関する教育の充実に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事や歌を例示し、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるように工夫されている。 けん玉、こま、あやとり、おはじきなど昔の遊びにふれられるよう配慮されている。 資料では、生き物のいろいろな姿や飼育方法が示され、気付きがサポートされるようになっている。 	<p>きせつだより 上p.56-57, 94-95 下p.10-11, 56-57, 70-71, 96-97</p> <p>昔の遊び 上p.96-97</p>	45 地域の店や公園などを訪問したり、利用したり、そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で、その人たちへの感謝や憧れの気持ちをもつとともに、自分の夢や未来について考えることができるように工夫されている。	46 3年生へのステップブック 下[小寸]p.1-7 みらいにむかって	<p>働く人の関わり 上p.38 下p.32-35, 38-41, 78-81など</p> <p>3年生へのステップブック 下[小寸]p.1-7 みらいにむかって</p> 

観点		啓林館の特色	具体例	9. 表記・表現	観点	啓林館の特色	具体例
42	多様な家庭環境を考慮した活動内容となってい るか。	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストは、児童の多様な家庭環境に配慮されている。 家族単元では、児童の多様な家庭環境に十分に配慮しながら、家族のあたたかさを実感したり、自分の役割を考えたりできるよ うに工夫されている。 成長単元では、児童の多様な家庭環境に十分に配慮しながら、自分自身の成長をふり返ることができるように工夫されている。 	<p>家族単元 上p.86-93 ひろがれえがお</p> <p>成長単元 下p.98-108 これまでのわたしこれからのわたし</p>	47	表記・表現は親しみやすく、児童の意識に沿っ ているか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元名や小単元名の他、本文中の言葉については、いずれも児童が行う活動や体験への重要な刺激となるように位置づけられており、下記のように設定されている。また、それらの構成要素の位置は、原則として固定されている。 [単元名] その単元で扱う事象や内容の本質的な特徴を、児童の興味を引く表現で示し、大きなまとまりの中で多様な活動が可能になるよ うに工夫されている。 [小単元名] その小単元の学習活動を具体的に示し、活動への意欲が高まるようになっている。 [本文] 小単元名を受けた児童の思いや願いに沿った文章で、児童に気付いてほしいポイントや、意欲・驚き・喜びを表現するとともに、気付きの広がり・深まりを促す工夫がされている。 [台詞] 本文を補い、活動への示唆や児童のつぶやき・疑問の声などが「ふ きだし」で示されている。 	<p>単元扉 </p> <p>小単元名・本文 </p>
43	社会に開かれた教育課程、家庭や地域社会との連携に配慮され ているか。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携が重要な内容に、保護者の方へのメッセージを設 け、家庭との連携が深まるように配慮されている。 外部人材との連携（地域の人的・物的資源の活用）の例として、 地域のお年寄り（昔の遊び）、農家の（野菜の栽培）、町で暮ら す人や働く人（町探検）、見守り隊の人（交通安全）など、児童の 生活を支える人々との交流が示されている。 生活科の活動でのできごとを家庭で伝えるようすや地域の活動に積 極的に取り組むようすが「ひろがるきもち」コーナーに記載されてい る。 公園探検や町探検などの野外活動では、地域の人や保護者の方、 PTAなどの協力を得ながら、安全に活動しているようすがイラス トで示されている。 	<p>保護者の方へのメッセージ 上p.③, 1, 19, 132 下 [小寸] p.8</p> <p>外部人材との連携 上p.96-97 下p.16, 20, 26-35, 38-41, 72-81</p> <p>「ひろがるきもち」コーナー^上p.17, 55, 93 ^下p.37, 95</p> <p>野外活動での家庭や地域の人との連携 上p.36-37, 78-79 下p.32-33</p>	48	漢字・カタカナの使い方は適切 か。	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の指導に配慮し、上巻の前半は、ひらがなのみ、上巻の後半（夏休み以降）の単元からは、カタカナと第1学年配当漢字（ふりがな付き）が使用されている。下巻は、ひらかな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）に加え、第2学年までの配当漢字（ふりがな付き）が使用されている。 児童の発達に配慮し、読みやすくするため文章が短く、区切られ ている。 	<p>漢字・カタカナの使い方 上巻（前半）ひらがな 上巻（後半）ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き） 下巻ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き）</p>
44	健康教育、生活習慣、食育に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き、手洗い、うがい、早寝早起きなど基本的な生活習慣が 身につき、健康に生活ができるようになるためのきっかけづくり となる内容が記載されている。 上巻では、夏休み前と冬休み前に「させつだより」の資料が設定 され、休みの間でも、規則正しく健康に過ごすことへの意識づ けや指導ができるようになっている。 上巻の家族単元「ひろがれえがお」では、自分の1日の生活を見 直し、規則正しく生活しようとする意識を育てることができるよ うになっている。 巻末の「がくしゅうずかん」の健康に関する資料には、「おいしく たべよう」のコーナーが設定され、食育にも配慮されている。 	<p>夏休み・冬休み前の指導 上p.56-57 させつだよりなつ 上p.94-95 させつだよりふゆ</p> <p>家族単元「ひろがれえがお」 上p.86-93</p> <p>食育 上p.129 けんこうにすごそう</p>	49	デザイン・レイアウトは適切か。	<ul style="list-style-type: none"> 1つの活動は見開きを基本として構成されていて、活動の内容が とらえやすくなっている。 基本的なストーリーは低学年児童の教科書にふさわしい程度の 文字情報量と動きのある写真やイラストで構成され、それらが すっきりとレイアウトされている。 活動を広げ、深めることができるように、紙面に巻末資料への 参照マークがあり、児童の主体的な学びをサポートするデザイン になっている。 	<p>資料ページへの参照マーク 上p.17, 25, 33, 43, 55, 63, 83, 85, 93, 97, 105, 107 下p.9, 17, 21, 25, 33, 37, 41, 53, 63, 67, 69, 91, 93, 103, 105 </p>
45	学校や地域の独自性を生かした活動が選択でき るようになって いるか。	<ul style="list-style-type: none"> 活動例や学習対象が多様に紹介され、その中から、学校や児童 の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。 冬の単元では、雪が降る地域でも、雪が降らない地域でも活動 が展開できるように、雪を利用した遊びと風を利用した遊びの両 方が扱われている。 	<p>選択できる活動例や学習対象 上p.22-31(花) 上p.50-51(砂場遊び、シャボン玉) 上p.58-63(生き物) 上p.82-85(どんぐりごま、やじろべえ、ダーツなど) 下p.14-23(野菜) 下p.44-51(生き物) 下p.60-65(おもちゃ)</p> <p>冬の単元「ふゆとなかよし」 上p.98-107(雪遊び、風遊び)</p>	50	写真・イラストは適切か。	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストは、児童の想像力を刺激したり、共感をよんだりして、 実際に活動する際の資料として十分活用できるようになっている。 興味・関心を喚起するダイナミックな写真と、緻密な資料として の写真とメリハリをつけて、適切に配置されている。 	教科書全体を通して
46	インクルーシブ教育・ユニバーサルデザインに配 慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 色覚の個人差を問わず、紙面の内容が判別しやすい配色・デザイ ンを用い、メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）によ る認証を申請中です。 本文などの基本的な文字のフォントは、UDフォントを採用し、 誰もが見やすく、読み間違えが少ないよう配慮されている。 多様な児童に配慮し、「小単元名」、「本文」、「カード例」など要 素の位置が原則として固定されている。また、学習活動の中で読 む必要のあるカードは傾けて配置することを避け、読みやすい構 成になっている。 	<p>メディア・ユニバーサル・デザイン協会 </p> <p>UDフォント </p>				

観点	啓林館の特色	具体例
51	鮮明な印刷になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国白色度の高い用紙に、鮮明で美しく印刷されている。
52	製本や加工は、低学年児童の使用を考慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 製本は、「あじろ無線とじ」で強力な接着止めを行って堅牢なつくりになっており、AB判というサイズながら、紙面は開きやすく広く丈夫に確保されている。 氏名記入欄は裏表紙に設けられ、記入しやすいように、コート加工が部分的に外されている。 表紙には、厚い用紙が使用され、汚れや濡れに強い加工が施されている。 [すたあとぶっく]や[ステップブック]などの小寸ページの用紙は、光沢感があり、本文よりも厚い用紙が使用されている。
53	用紙や印刷は、環境に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 発色が良く、耐久性もある、再生紙が使用されている。 環境への負荷が小さい植物油インキが使用されている。

2020年度用

学習指導要領との関連

わくわく せいかつ 上

単元名 (その他活動、資料)	配当 時数	学習指導 要領の内容
がっこうだいすき あいうえお	6	(1) (2) (3)
いくぞ！ がっこう たんけんたい	10	(1) (3) (4) (5) (7) (8)
げんきに そだて わたしのはな (1学期)	5	(7) (8)
あそびばに でかけよう	5	(3) (4) (5) (6) (8)
なつと なかよし	6	(5) (6) (8)
げんきに そだて わたしのはな (2学期)	5	(7) (8)
生きもの 大すき	7	(1) (7) (8)
あきと なかよし	15	(4) (5) (6) (8)
ひろがれ えがお	10	(2) (8) (9)
ふゆと なかよし	10	(1) (3) (5) (6) (8)
もう すぐ 2年生	13	(1) (2) (3) (5) (8) (9)
標準時数 102 配当時数 (予備時数)	92 (10)	

いきいき せいかつ 下

単元名 (その他活動、資料)	配当 時数	学習指導 要領の内容
新しい こと いっぱい	4	(1) (8) (9)
大きく そだて わたしの 野さい (1学期)	10	(3) (5) (7) (8)
とび出せ！ 町の たんけんたい	10	(3) (4) (5) (8)
みんな 生きて いる	10	(3) (5) (7) (8)
せかいで ひとつ わたしの おもちゃ	12	(6) (8)
大きく そだて わたしの 野さい (2学期)	2	(3) (5) (7) (8)
もっと 知りたい たんけんたい	14	(3) (4) (5) (8)
町の すてき つたえたい	12	(3) (4) (5) (8)
これまでの わたし これからの わたし	21	(1) (2) (3) (8) (9)
(みらいに むかって)		(9)
標準時数 105 配当時数 (予備時数)		95 (10)

※地域や学校および子どもの実態に応じた弾力的な活動計画が立てられるように、標準時数よりも余裕をもたせて時間を配当しています。

※下巻の巻末「みらいにむかって」は、資料単元として掲載しているため、配当時間は設けていません。

学習指導要領の9つの内容

(1) 学校と生活

(2) 家庭と生活

(3) 地域と生活

(4) 公共物や公共施設の利用

(5) 季節の変化と生活

(6) 自然や物を使った遊び

(7) 動植物の飼育・栽培

(8) 生活や出来事の交流

(9) 自分の成長

平成32(2020)年度用 年間活動計画

教師用指導書のご紹介

第二部

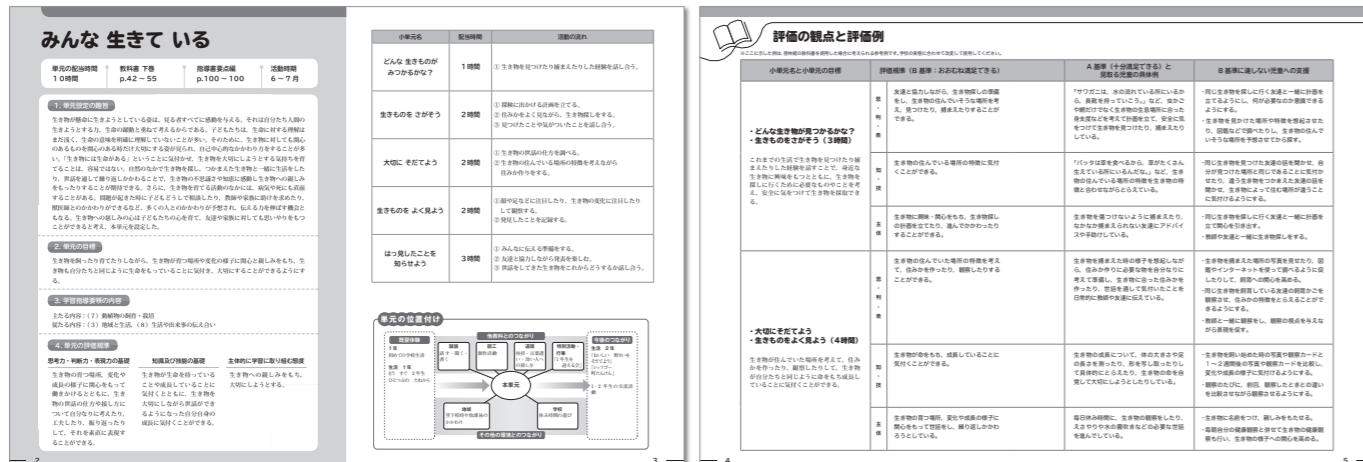
要点編 日々の授業のために

教科書と同じ紙面に言葉がけなど役立つ情報が盛り込まれています。また、特別な支援が必要な子どもへの留意点を具体的に示しています。



研究編 教材研究や授業研究のために

単元設定の趣旨や評価規準、評価の具体例、展開例などを詳細に解説しています。



▲ 単元設定の趣旨など

NEW

スタートカリキュラム編

カリキュラム作成の基本から実践事例などを掲載しています。



第一部	・総説
第二部	・要点編 ・研究編 ・スタートカリキュラム編 ・カード集 ・資料編

第一部

総説 (全学年共通)

生活科教育のガイドとして、学年をこえた内容、幼保小連携、合科的・関連的な指導、特別支援教育、防災教育などを掲載しています。生活科を初めて指導する先生に、まず最初に手にとってほしい指導書です。

カード集

子どもが書きやすい、パターン化した汎用性の高いカードや、単元ごとのカードのひな型を準備しています。



自然遊びや昔遊び、飼育・栽培など、すぐ役立つ資料を掲載しています。



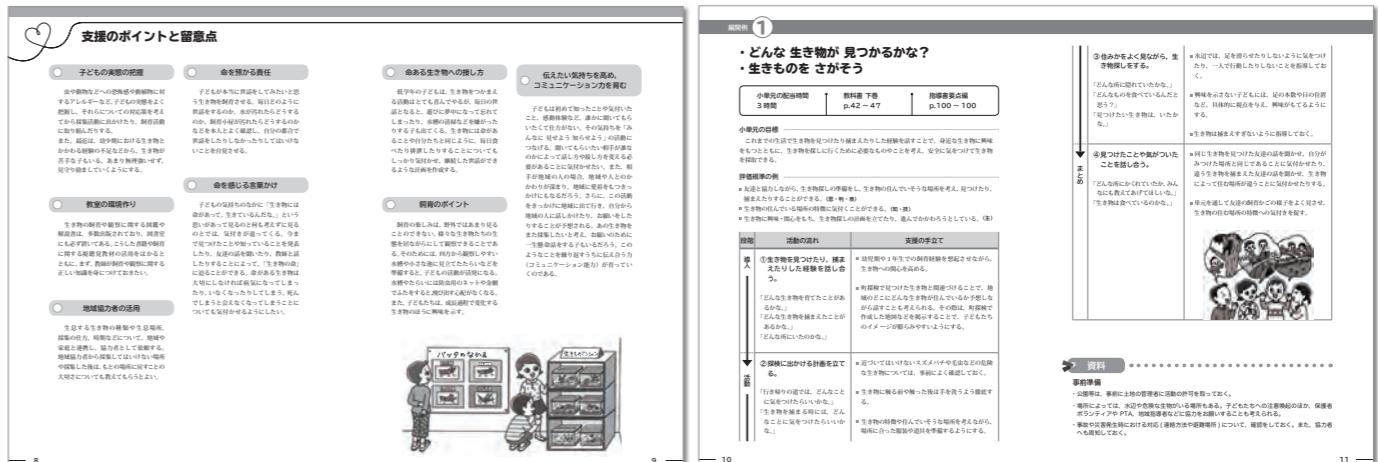
付録 DVD-ROM

- ・カード集 (ワード形式)
- ・全単元評価資料 (ワード形式)
- ・年間活動計画 (エクセル形式)
- ・教師用デジタル教科書 (教材)
- ・QRコンテンツ集

教師用デジタル教科書は、インストールしてご利用いただけます。
※電子黒板にも対応しています。



支援のポイントと留意点



▲ 支援のポイントと留意点

※指導書の紙面の内容は、作成中のものです。項目を含め、変更になる可能性があります。

▲ 展開例

児童一人ひとりのための デジタル教科書(学習者用)

新学習指導要領を踏ました「主体的・対話的で深い学び」
のための授業支援として、また、視覚障害、発達障害など、
様々な障害等により紙媒体の教科書を使用して学習するこ
とが困難な児童の学習支援として、「デジタル教科書（学
習者用デジタル教科書）」を通常の紙の教科書に代えて使
用することが可能になりました。

※ デジタル教科書 … 紙媒体の教科用図書と同一の内容を記録した
電磁的記録である教材のこと。

基本的な機能の紹介



拡大機能

注目するところ、見たいところを、ピ
ンチアウト操作などで簡単に大き
く表示できます。

保存機能

書き込みをはじめとする様々な学習履
歴が保存されますので、いつでも続き
が再開できます。

ペン機能

様々な線種や色、太さで、どんどんと書
きこめます。間違っても簡単に消したり、
やり直したりできます。

QR コンテンツ

紙の教科書にあるQRコンテンツがデジ
タル教科書でも利用できます。動画やア
ニメーションなどは、オフラインで利用
できます。

この他、お互いの書き込みや意見をスムースにやり取りするためのツールや、重要な用
語やきまりを暗記するための暗記ペンなど、様々なツールがご利用できます。

特別支援に関する機能



紙媒体の教科書のみを使用して学習するこ
とが困難な児童のための学習支援
機能が充実しました。アクセシビリティを重視し、一人ひとりのニーズに応えます。



音声読み上げ
(速度調整可)



色の反転・配色変更
(文字色、背景色等)

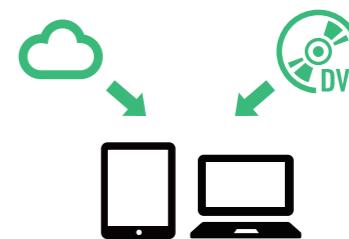


かんじ
漢字
総ルビ表示

アプリ版

オフラインでいつでもどこでも使いたい!

タブレット等に専用ピュア、コンテンツをインストール
して利用します。
一部の URL へのリンク機能を除き、教科書画面や QR
コンテンツ、オプション購入した各種コンテンツがオフ
ラインでご利用いただけます。



ブラウザ版

インストールや更新の手間を抑えたい!

学校等のサーバーにデジタル教科書のデータを配置し、
クライアント端末の OS に付属のブラウザで閲覧・操作
します。サーバーにデータを配置しますので、インストー
ルや更新作業の手間を抑えることができます。オンライン
環境が必要です。



動作環境	学習者用・指導者用とも動作環境は共通です。また、アプリ版・ブラウザ版も同様です。		
対応 OS	Windows	Windows 10 (64bit 日本語版) を推奨 ※S モードは対象外 Windows 8.1 (32bit/64bit 日本語版) ※Windows RT は非対応	iOS
解像度	1366x768 以上 (1920x1080 程度を推奨)	Retina 解像度の iPad	
その他	CPU	Core i3 以上を推奨	
	メモリ	4GB 以上	対象 タブレット
	HDD 空き容量	1GB 以上 + 教材や学習履歴の保存領域	iPad Air2 以上
ブラウザ版 (機能制限あり)	画面の表示色数の設定	32 ビットカラー	Safari を推奨
	Chrome, Edge の最新版を推奨 (IE 11 は左記ブラウザより速度が低下します。音声読み上げ非対応) ※Web 配信が快適にできる環境 (WindowsServer 2012 以上)	・ブラウザ版はネットワーク接続が必須です。・Windows は、マイクロソフト社の登録商標です。・iOS は、Cisco の登録商標です。 ・iPad は、Apple Inc. の登録商標です。　※画面や機能は現在開発中のため、変更になる場合がございます。予めご了承ください。	

指導者用デジタル教科書

「学習者用デジタル教科書」は、学習者用端末で利用する児童一人ひとりを対象にしたライセンス商品です。別途、学校内の指導者用端末にイン
ストールでき、授業でクラス内すべての児童を対象に教科書画面やコンテンツを電子黒板やプロジェクタで拡大提示できるライセンスを有した「指
導者用デジタル教科書(教材)」については、教師用指導書付録としてお届けします。



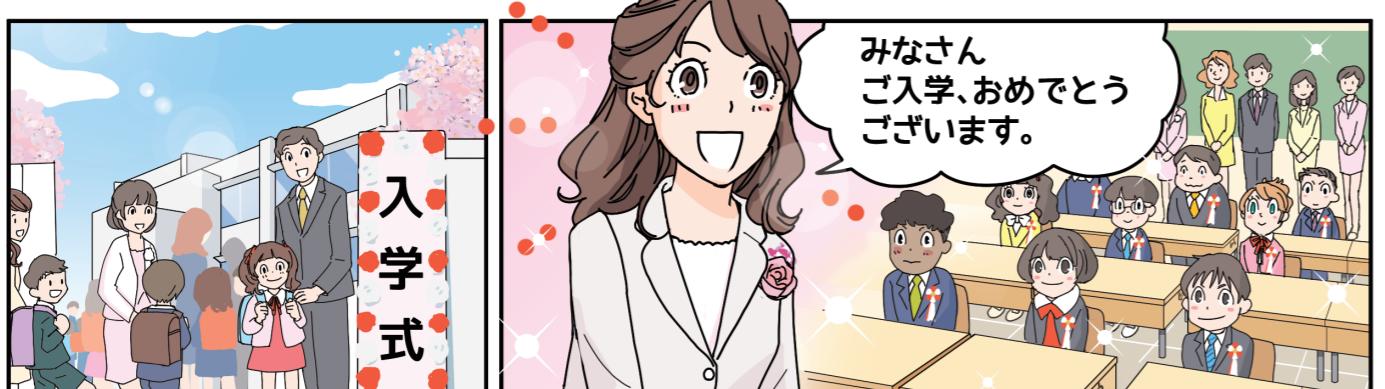
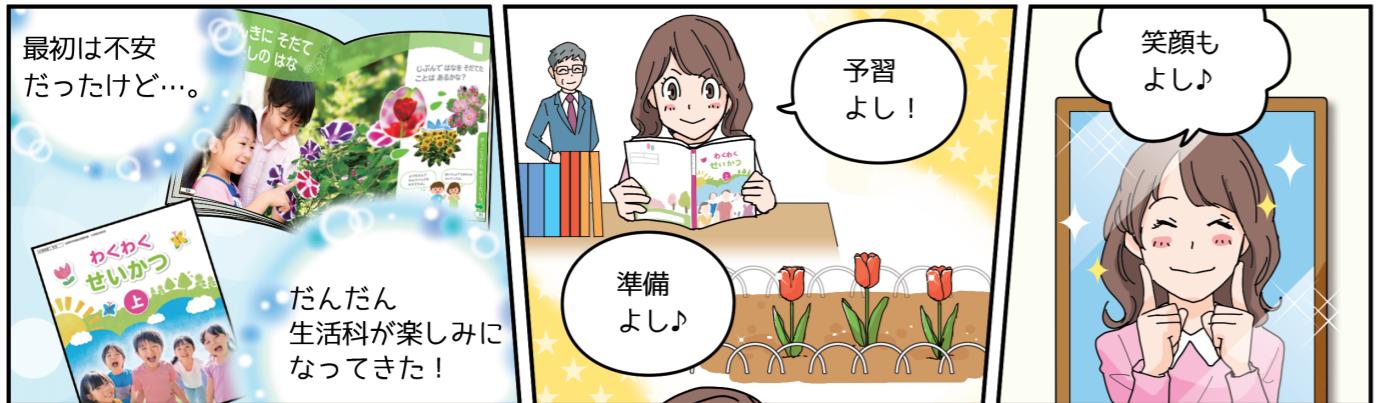
付録 CD にデジタル教科書の機能の紹介動画を収録しています。
start.html をクリックして、メニューから選んでご覧ください。

体験版や詳しい内容は <https://digi-keirin.com/dtext/seikatsu.html>
体験版ユーザーID: keirin-seikatsu パスワード: Seikatsu2020

教師用指導書



いよいよ 始まる。



さくいん

Ⓐ ICTの活用	44, 49
アレルギー	56
安全教育	54
ESD（持続可能な開発のための教育）	57
インクルーシブ教育	58
衛生面	56
Ⓑ 外来生物	57
学校安全	54
家庭との連携	48
カリキュラム・デザイン	50
カリキュラム・マネジメント	50
環境教育	57
基本的生活習慣	56
キャリア教育	20
QRコンテンツ	49
協働的な学び	43
緊急対策外来生物	57
健康面	56
言語能力の育成	44
合科的・関連的な学習	50
国際理解	58
Ⓒ 3段階構成	12
CUD	58
ジェンダー	58
思考力・判断力・表現力等の基礎	46
資質・能力の3つの柱	46
持続可能な開発のための教育（ESD）	57
社会に開かれた教育課程	48
人権	58
スタートカリキュラム	16
Ⓓ 男女平等	58
地域との連携	48
知識及び技能の基礎	46
中学年以降への接続	20
伝え合い活動	44
伝統や文化	57
道徳教育	50
特別支援教育	58
Ⓔ 熱中症	55
Ⓕ 表現活動	42
ふり返り	47
防災教育	54
Ⓖ マナー	23, 46
学びに向かう力・人間性等	47
学びのプロセス	12
学びの見通し	40
見通し	40
めぐり言葉	14
Ⓗ ユニバーサルデザイン	58
幼児期の終わりまでに育つてほしい姿	16

著作編修関係者

寺尾 慎一	元福岡教育大学学長
中野 真志	愛知教育大学教授
青木 浩幸	国際基督教大学助教
阿部 治	立教大学教授
天野 正輝	京都大学名誉教授
有馬 武裕	玉川大学客員教授
牛見 沙也香	山口市立島地小学校教諭
往古 靖子	東京都板橋区立板橋第二小学校副校長
鹿島 正史	東京都新宿区立東戸山小学校主任教諭
加藤 智	愛知淑徳大学准教授
久龍 和巳	阿南市立羽ノ浦小学校教諭
香田 健治	関西福祉科学大学講師
坂戸 英樹	元東京都大田区立六郷小学校校長
佐藤 真	関西学院大学教授
島 善信	甲子園大学非常勤講師
杉澤 学	奈良女子大学附属小学校副校長
竹原 章雄	大阪市立菅北小学校校長
田中 博之	早稲田大学教授
田巻 幸子	相模原市立田名北小学校総括教諭
塚田 康子	神奈川CST協会会長
中井 義時	山形大学教授
中西 大	和歌山大学教育学部附属小学校教諭
野口 一夫	山村学園短期大学学長
藤岡 仁	吹田市立津雲台小学校教諭
藤上 真弓	山口大学大学院教育学研究科講師
藤本 勇二	武庫川女子大学准教授
船越 博昭	新見市立神代小学校教諭
前田 一男	立教大学教授
前谷 さき子	大阪市立梅香小学校校長

松井 奈津子	大阪市立鶯洲小学校校長
松尾 憲雄	元福岡教育大学附属久留米小学校主幹教諭
溝上 敦子	元佐世保市立柏木小学校校長
溝邊 和成	兵庫教育大学教授
矢野 英明	元帝京大学教職大学院客員教授
	株式会社新興出版社啓林館編集部

《幼児教育に関する監修》

川邊 秀明	戸田第一幼稚園園長
木下 光二	鳴門教育大学大学院教授
坂井 英一	木更津つくし学園園長
榎原 久子	つばさ福祉会法人理事
田中 あき子	認定こども園大美野幼稚園園長
寺尾 章子	東京都文京区立向丘保育園園長
波岡 千穂	伸和学園堀川幼稚園副園長
吉田 典子	伊丹市立せつよう幼稚園教頭

《特別支援教育に関する監修》

柘植 雅義	筑波大学教授
-------	--------

《言語力に関する監修》

芥川 元喜	金沢星稜大学准教授
石川 一恵	大阪市立中央小学校教諭
八瀬 宗子	大阪市立古市小学校教諭

《道徳教育に関する監修》

天田 有香	大阪市立中央小学校教諭
藤岡 三奈子	大阪市立豊仁小学校教諭

《防災・減災に関する監修》

河田 恵昭	関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長
-------	------------------------

表紙とキャラクターのご紹介



* QRコードの情報は無料ですが、インターネット接続に必要な費用やパケット通信料などは、使用される方のご負担になります。
通信環境をご確認の上、ご利用ください。

内容解説資料 付録CD



- 【start.html】をクリックしてご覧下さい。
- ・教科書、デジタル教科書、教材等のご紹介(動画)
 - ・学習指導要領との関連
 - ・観点別特色一覧表
 - ・年間活動計画

教科書のご紹介Webページ

新しくなった啓林館の教科書の魅力を動画で紹介しています。
(https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho/text_2020/seikatsu/)



のびっく

ぐるるっち

ぴんぴん

 啓林館

<http://www.shinko-keirin.co.jp/>

本 社 〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番25号

電話 (06) 6779-1531

東 京 支 社 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号

電話 (03) 3814-2151

北 海 道 支 社 〒060-0062 札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階

電話 (011) 271-2022

東 海 支 社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階

電話 (052) 231-0125

広 島 支 社 〒732-0052 広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階

電話 (082) 261-7246

九 州 支 社 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階

電話 (092) 725-6677